

ゆがわら 2021 プラン

湯河原町総合計画

実施計画

【令和5(2023)年版】

計 画 期 間

令和3(2021)年度～令和5(2023)年度

『湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち 湯河原』
の実現に向けて

目 次

I	湯河原町総合計画実施計画について	2
---	------------------	---

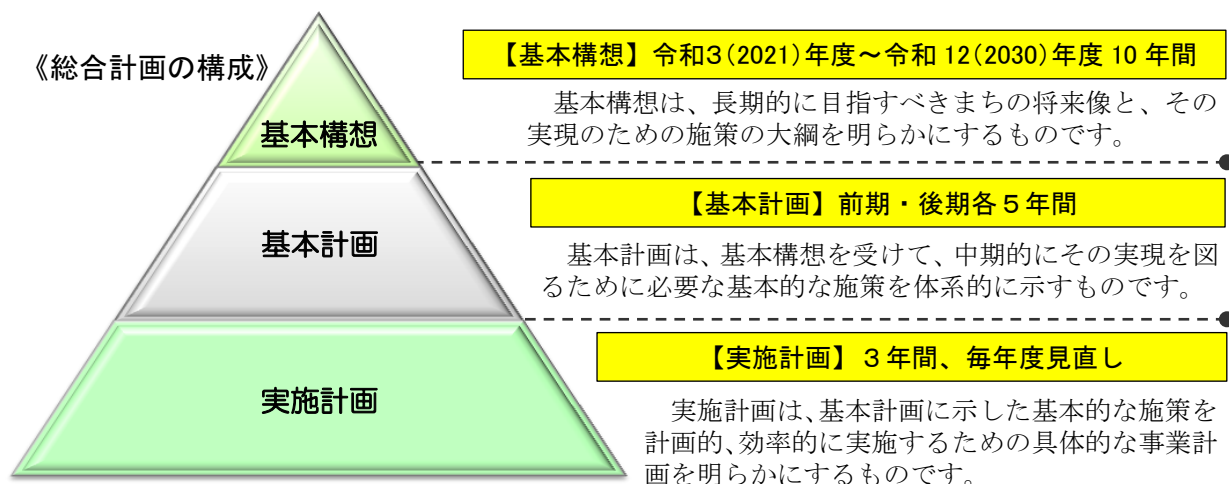
II	基本目標別実施計画	4
----	-----------	---

基本目標 1	魅力と活力にあふれにぎわいのあるまちづくり	5
基本目標 2	ともに支え合い笑顔で暮らせるまちづくり	21
基本目標 3	四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	38
基本目標 4	生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	56
基本目標 5	みんなでつくる自立と協働のまちづくり	71
湯河原町総合計画実施計画とSDGsの関係		79
所管課別事業一覧		86

I 湯河原町総合計画実施計画について

1 総合計画上の位置付け

実施計画は、ゆがわら 2021 プラン湯河原町総合計画において、次のとおり位置付けられています。



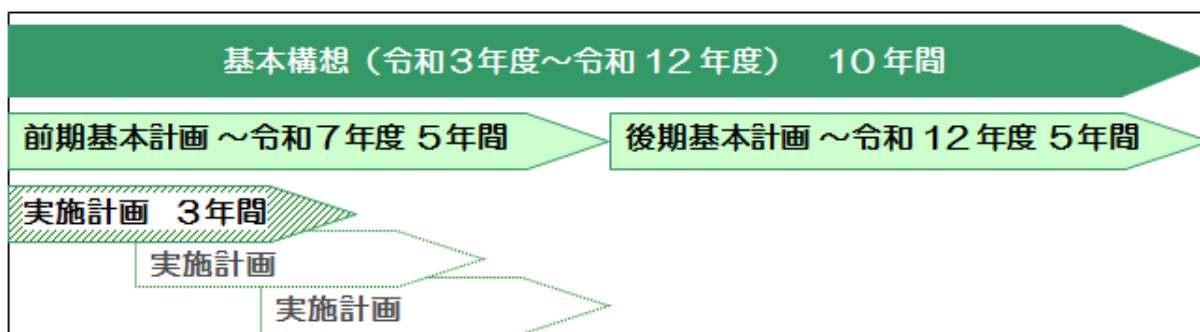
2 実施計画策定の目的

この実施計画は、基本構想に定めるまちの将来像「湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち 湯河原」の実現を目指し、基本計画に位置付けられた各施策を具体的に実施していくために策定するものです。

3 実施計画の期間

この計画の期間は、令和3（2021）年度から令和5（2023）年度までの3年間です。

なお、実施計画は、3か年の計画期間としていますが、社会情勢の変化や町の財政状況などに柔軟に対応できるよう、ローリング方式により毎年度見直しを行うものとします。



「実施計画」は毎年度ローリング方式による見直し

4 実施計画の対象事業

実施計画の対象事業は、原則として予算上の事業単位とし、基本計画に掲げる細施策に位置付けられた事業とします。

5 実施計画書

- (1) 実施計画事業は、ゆがわら2021プラン基本計画の基本目標別に、細施策単位で掲載しています。
- (2) 実施計画事業の内容について
 - ア 年度別事業費として令和3（2021）年度は決算額、令和4（2022）年度は決算見込額、令和5（2023）年度は予算額を掲載しています。
 - イ 予算事業は、原則として実施計画事業と同一の名称及び内容となっています。ただし、例外的に予算事業と整合がとれないものがあります。

実施計画事業の記載例

分野の内容		細施策の概要		前期基本計画書の細施策掲載ページ		計画書P31		
		1 観光						
実施計画事業の内容		○観光を通じ、地域づくり、町経済の発展、町民生活の向上に寄与することを目的として制定した～～ ○ロケツーリズムを推進し、町の自然、風景、食や人々のおもてなし等を効果的に情報発信し、～～						
		【参考となる指標】観光入込客数（日帰客・宿泊客 合計）						
		実 績		令和12年度の目標				
		令和2年度 4,000 千人	令和3年度 4,200 千人	4,500 千人				
実施計画事業の内容		事業 No. 1	事業名	夏季行事開催事業				
		観光課	事業概要	湯河原の夏を彩る湯河原海水浴行事、やっさまつり、海上花火大会を、「湯河原やっさまつり海水浴行事実行委員会」に委託して開催し、夏季の観光客誘客を図る。				
		ソフト事業						
		2021（令和3）年度		2022（令和4）年度	2023（令和5）年度			
		○夏季行事を開催 ・東京オリンピックを考慮し、やっさパレードを1日に集約						
		決算額	17,230 千円	決算見込額	17,230 千円	予算額 17,230 千円		

6 留意事項

実施計画に掲載する各事業は、計画策定段階における事業であり、国・県の補助制度の動向や社会情勢の変化、また、町の財政状況などにより実施年度などが変更される場合があります。

Ⅱ 基本目標別実施計画

まちの将来像である「湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち 湯河原」の実現に向けて、次の5つのまちづくりの基本目標のもとに、施策の大綱を掲げます。

基本目標 1

観光・産業 魅力と活力にあふれにぎわいのあるまちづくり

温泉観光地の特徴を最大限発揮し、観光を産業の軸としながら交流人口の増加を図り、農業、林業、漁業、商業などの各産業の連携のもとに、魅力と活力にあふれ、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

基本目標 2

保健・福祉 ともに支え合い笑顔で暮らせるまちづくり

町民一人ひとりが健やかに暮らすための健康づくりと、互いに助け合い支え合う地域ぐるみの福祉を推進し、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを進めます。

基本目標 3

生活環境 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり

計画的な土地利用のもと、季節感あふれた美しい風景と町民生活の調和を図るとともに、生活基盤や災害への備えを充実し、安全で安心して生活することができるまちづくりを進めます。

基本目標 4

文化・教育 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり

地域の伝統を大切にしながら、生涯にわたる文化、学習、スポーツなどの活動を通じて、健やかな体と豊かな心を育むまちづくりを進めます。

基本目標 5

行財政運営 みんなでつくる自立と協働のまちづくり

町民や企業・団体などの様々な主体のまちづくりへの参加を促し、町民、議会及び町の連携のもと、効率的な行財政運営を行い、自立と協働のまちづくりを進めます。

基本目標 1 魅力と活力にあふれにぎわいのあるまちづくり

-- I 観光の振興 --

風光明媚な自然と人々の心と体を癒してきた温泉を活かし、本町の基幹産業である観光振興と、創意工夫に満ちた意欲的な取組みを支援します。

分野	主要施策	細施策
1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実 p. 7 ② 民間活力の活用 p. 9 ③ 名物料理・商品の開拓 p. 9 ④ 歴史的・文化的資源の発掘、活用 p. 9 ⑤ 観光資源の発掘と情報の収集 p. 10 ⑥ 箱根ジオパークの活用 p. 10 ⑦ ハイキングコースの充実 p. 11
	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	① 県立奥湯河原自然公園の整備 p. 11 ② 観光施設の活用 p. 11 ③ 清流沿いの遊歩道の整備 p. 12 ④ 宿泊施設の近代化促進 ⑤ 湯河原温泉の個性化・情報提供 ⑥ 万葉荘の活用 p. 12
	(3) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の発信 p. 12 ② インターネットを使った観光情報発信の充実 p. 12 ③ 拠点観光スポットの整備・活用 p. 13 ④ 観光案内板・散策ガイドの整備 ⑤ 観光アドバイザーの活用 p. 13 ⑥ インバウンドの情報発信 p. 13
	(4) 観光人材育成と団体活動の活性化	① 観光サービス業研修会の支援 p. 13 ② 経営者研修会・交流会の支援 ③ 観光関連団体間の提携・交流強化 ④ 産業間の提携・交流強化
	(5) おもてなしの向上	① 観光ボランティアの活動の推進 p. 13 ② 観光意識の醸成 p. 14 ③ 国際観光地に向けた外国人観光客誘客活動
2 温泉	(1) 温泉設備の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営 p. 14
	(2) 温泉の資源保護と有効活用	① 温泉の資源保護 p. 14 ② 温泉販路の拡大

-- II 地域産業の振興 --

本町の地域性を活かし、農業、林業、漁業、商業の産業間相互の連携を促進し、魅力あふれる地域産業の振興を図ります。

分野	主要施策	細施策
3 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	① 商店街診断、相談の充実 ② 融資制度、利子補給制度の拡充 ③ 歩道・街路灯、街路樹の整備 ④ 大型店・中型店進出への対応 ⑤ 空き店舗対策の支援 p. 15 ⑥ キャッシュレス環境の整備
	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化 p. 15 ② 経営者研修会の開催
4 工業	(1) 工業基盤の整備	① 観光ニーズに合った製品の共同開発 p. 15
	(2) 団体活動の活性化と人材育成（再掲）	① 商工業関連団体間の提携・交流強化（再掲） ② 経営者研修会の開催（再掲）
5 農業	(1) 農業生産基盤の整備	① 農道の整備 ② 広域農道の整備 p. 16 ③ 有害鳥獣による被害への対応 p. 17
	(2) 農業経営の高度化の促進	① 耕作放棄地対策 p. 17 ② 出作農地の活性化対策 ② 新しい農産物加工品などの開発

5 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	③ 農業経営の安定化の推進 p. 17 ⑤ 農業経営基盤強化資金制度、利子補給制度の拡充 ⑥ 農業の担い手の育成 ⑦ 中山間地域等直接支払制度の活用 ⑧ 朝市・直売化の促進 p. 17
	(3) ふれあい農園・遊休農地の活用	① ふれあい農園の規模拡大 p. 18 ② 農業者と観光客との交流機会の拡大
6 林業	(1) 林業基盤の整備	① 林道の整備 ② 生活環境保全林の整備 p. 18 ③ 育林の指導援助 p. 18
	(2) 森林保全の担い手の育成	① 森林保全の担い手の育成
7 漁業海業	(1) 漁業生産基盤の整備	① 稚魚・稚貝の放流による栽培漁業の促進 p. 19 ② 担い手の育成と確保 p. 19
	(2) 漁業・海業の振興	① 朝市の推進 ② 海・浜の秩序ある利用計画の検討
	(3) 漁業経営改善の促進	① 設備の維持 ② 融資制度の拡充

Ⅲ 雇用の確保

幅広い世代の雇用確保のため、関係機関との連携や近隣市町村と連携した取組みを推進し、雇用の確保に努めます。また、勤労環境の改善に努めます。

分野	主要施策	細施策
8 雇用対策	(1) 就業の促進	① 就業機会の拡大 p. 19 ② 人材の育成 ③ 町内就業の促進 ④ 高齢者人材の活用 ⑤ 若年者、女性等による創業の支援
	(2) 労働環境の向上	① 法律や制度の広報活動の強化 ② 労働相談の充実 ③ 労務管理の適正化
9 勤労者福祉	(1) 勤労者福祉の充実	① 勤労者福祉の充実 ② 勤労者支援の充実 ③ 仕事と生活の調和

Ⅳ 地方創生の推進

人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図るため、出産・子育てしやすい環境の整備や移住・定住促進、地域の魅力発信などを分野横断的に取り組みます。

分野	主要施策	細施策
10 地方創生	(1) 就労環境の整備	① 新たな雇用を生む産業の振興 ② 誘客につながるイベント開催 ③ 空き家・空き店舗の活用 p. 20
	(2) 移住の促進	① 移住促進のための居住環境等の整備 p. 20 ② 湯河原の魅力を全国に発信
	(3) 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備	① 安心して出産できる環境の整備 ② 子育ての不安解消のための支援拡充 ③ 若い世代が定住していける住環境の整備
	(4) 人口減少・高齢化社会に対応したまちづくり	① 人口減少・高齢化社会への対応 ② 健康寿命日本一の実現を目指す

Ⅰ 観光の振興

1 観光	計画書 P31								
○観光を通じ、地域づくり、町経済の発展、町民生活の向上に寄与することを目的として制定した「湯河原町観光立町推進条例」に基づき、多様化する観光ニーズに対応するため、宿泊施設・観光施設などの個性を際立たせ、特色ある観光地をめざすことにより、観光関係事業者・業界団体の経営力を高めて、観光客数、宿泊客数の増加に努めます。また、観光立国を推進する国や県の施策を積極的に活用するとともに、近隣市町との広域ネットワーク化を進め、観光産業の活性化を図ります。 ○ロケツーリズムを推進し、町の自然、風景、食や人々のおもてなし等を効果的に情報発信し、住民参加型の地域間連携がとれた仕組みづくりを確立し集客することで、本町のファンを作り、リピーターの確保に努めます。また、同時に、湯河原温泉のイメージを定着させるロゴの運用に努めます。 ○県が提唱している「未病」を改善する取組みと連携した健康づくりに着目した「ヘルスツーリズム」を提供するモデル事業を実施し、他の温泉観光地との差別化を図り、新たな観光客の誘客を引き続き図ります。 ○連泊者の増加につながる「ロングステイツーリズム」を推進するため、近隣観光地の観光資源との連携を図り、県西地域全体で観光施策に取り組みます。 ○温泉場エリアにおいては、万葉公園を中心としたエリア全体での周遊性を高め、観光客の誘客増加に努めます。 ○「モノ消費」から「コト消費」の変化への対応が重要になる中、旅行消費額の拡大のため滞在期間の長期化を促す必要があります。そのため、文化や自然などの観光資源や夜間の時間帯などを活用した体験型観光コンテンツを充実させ、新たな観光需要の創出を図ります。									
【参考となる指標】観光入込客数（日帰客・宿泊客 合計）									
<table border="1"> <tr><th colspan="2">実 績</th></tr> <tr> <td>令和2年度 4,000 千人</td><td>令和3年度 3,500 千人</td></tr> </table>	実 績		令和2年度 4,000 千人	令和3年度 3,500 千人	 <table border="1"> <tr><th colspan="2">令和12年度の目標</th></tr> <tr> <td colspan="2">4,500 千人</td></tr> </table>	令和12年度の目標		4,500 千人	
実 績									
令和2年度 4,000 千人	令和3年度 3,500 千人								
令和12年度の目標									
4,500 千人									
【参考となる指標】観光消費額									
<table border="1"> <tr><th colspan="2">実 績</th></tr> <tr> <td>令和2年度 863 万円</td><td>令和3年度 762 万円</td></tr> </table>	実 績		令和2年度 863 万円	令和3年度 762 万円	 <table border="1"> <tr><th colspan="2">令和12年度の目標</th></tr> <tr> <td colspan="2">1,000 万円</td></tr> </table>	令和12年度の目標		1,000 万円	
実 績									
令和2年度 863 万円	令和3年度 762 万円								
令和12年度の目標									
1,000 万円									
【参考となる指標】ワンストップ窓口を経由して町内で撮影されたコンテンツ（累計）									
<table border="1"> <tr><th colspan="2">実 績</th></tr> <tr> <td>令和2年度 20 件</td><td>令和3年度 59 件</td></tr> </table>	実 績		令和2年度 20 件	令和3年度 59 件	 <table border="1"> <tr><th colspan="2">令和12年度の目標</th></tr> <tr> <td colspan="2">350 件</td></tr> </table>	令和12年度の目標		350 件	
実 績									
令和2年度 20 件	令和3年度 59 件								
令和12年度の目標									
350 件									

(1) 観光資源の拡充・整備
①イベントの充実

事業 No. 1	事業名	夏季行事開催事業
観光課 ソフト事業	事業概要	湯河原の夏を彩る湯河原海水浴行事、やっさま祭り、海上花火大会を、「湯河原やっさま祭り海水浴行事実行委員会」に委託して開催し、夏季の観光客誘客を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○夏季行事を開催 ・東京 OP を考慮し、やっさパレードを1日に集約		・with コロナを踏まえたやっさパレードを8月2日・3日に開催
決算額 19,985 千円		予算額 40,355 千円

事業 No. 2	事業名	梅の宴行事開催事業
観光課 ソフト事業	事業概要	湯河原梅林内での多種多彩なイベントの企画・運営を梅の宴行事実行委員会に委託し開催する。観光客に細やかなサービスを提供し、リピーターを確保する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○梅の宴行事を開催		
決算額 9,629 千円		予算額 10,794 千円

基本目標1- ゆがわら 2021 プラン（湯河原町総合計画）実施計画

事業 No. 3	事業名	武者行列行事開催事業
観光課	事業概要	史実に基づいた春の観光行事として、例年4月第1日曜日に五所神社と桜木公園で出陣の儀、同区間で武者行列を実施し誘客を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○出陣の儀及び武者行列を実施 ・武者パレード中止 ○大人侍鎧作製	○観光用簡易鎧作製（5 領）	○観光用簡易鎧作製（5 領）
決算額	847 千円	決算見込額 2,800 千円 予算額 3,000 千円

事業 No. 4	事業名	湯河原梅林公園管理事業
観光課	事業概要	「梅の宴」開催に必要な会場設備、料金徴収、入園券の印刷、仮設トイレの設置などを行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○料金徴収等を実施 ○仮設トイレの設置等を実施		
決算額	16,384 千円	決算見込額 19,090 千円 予算額 19,511 千円

事業 No. 5	事業名	もみじの郷行事開催事業
観光課	事業概要	秋の誘客対策として、池峯「もみじの郷」を歩くハイキングを開催し、奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知することにより、近郊周遊型の誘客を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○もみじの郷行事を開催		
決算額	100 千円	決算見込額 100 千円 予算額 100 千円

事業 No. 6	事業名	宿泊促進事業
観光課	事業概要	温泉らくごや三遊亭小遊三門会寄席を実施し、観光客の滞在時間を延伸させ、楽しめる事業を行い、宿泊促進に結び付ける。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○宿泊促進キャンペーンを実施 ○宿泊促進事業を助成		
決算額	18,739 千円	決算見込額 17,412 千円 予算額 7,832 千円

事業 No. 7	事業名	地域振興事業補助金
観光課	事業概要	観光振興に寄与する商店街が行う事業について助成し、商店街の活性化を図ることで、観光振興に寄与する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○観光振興事業を助成		
決算額	500 千円	決算見込額 700 千円 予算額 600 千円

事業 No. 8	事業名	さつきの郷誘客事業
観光課	事業概要	さつきの郷開催時にイベントの開催、来場者向けのバス運行、交通整理員を委託する。また、チラシを作成し、来場客数の把握に努めることで、誘客効果の向上を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○チラシを作成 ○交通誘導員を配置 ○臨時バス運行を委託		
決算額	908 千円	決算見込額 1,310 千円 予算額 2,118 千円

事業 No. 9	事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業
観光課	事業概要	駅周辺が一体となって活性化するため、「ぶらん市」を年4回実施し、にぎわいの創出を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○「ぶらん市」年3回実施		→
○駅前ツリー設置事業		→
決算額	1,000 千円	決算見込額 1,680 千円 予算額 1,000 千円

事業 No. 10	事業名	コキアの郷づくり事業
観光課	事業概要	本町の閑散期である9月～10月に見ごろを迎えるコキアを新たな観光資源となるよう、町民を巻き込んだ観光資源の開発を行うもの。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		○事業実施 →
決算額	—	決算見込額 1,771 千円 予算額 16,027 千円

②民間活力の活用

事業 No. 11	事業名	こごめの湯運営事務経費
観光課	事業概要	日帰り温泉施設「こごめの湯」について、地元温泉場区を指定管理者として効率的な管理・運営を行い、管理運営費の節減に努める。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○指定管理者による管理・運営		→
決算額	5,516 千円	決算見込額 9,691 千円 予算額 12,191 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-I-1-(2)-②観光施設の活用】

③名物料理・商品の開拓

事業 No. 12	事業名	made in ゆがわら認定事業
観光課	事業概要	魅力ある特産品を「made in ゆがわら」に認定し、湯河原らしさと付加価値を付けブランド化を図り、販路を拡大し、地域経済の活性化に繋げる。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○認定審査委員会の開催		→
○認定商品のPR		→
○次期認定商品の募集		○次期認定商品の決定 ○次期認定商品の募集
決算額	120 千円	決算見込額 291 千円 予算額 429 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-II-3-(2)-①商工業関連団体間の提携・交流強化、基本目標1-II-4-(1)-①観光ニーズに合った製品の共同開発】

④歴史的・文化的資源の発掘、活用

事業 No. 13	事業名	湯河原文学賞事業
地域政策課	事業概要	文化の発信地・湯河原温泉をアピールし認知度を高めるため、湯河原町とゆかりのある俳人・黛まどか氏にご協力いただき、俳句の募集、俳句会を実施し、文化の振興及び文学の町としてのイメージ向上を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○俳句の募集		○俳句会を実施 →
○ねんりんピックリハ大会との共催		○ねんりんピックとして開催
決算額	221 千円	決算見込額 0 千円 予算額 1,003 千円

⑤観光資源の発掘と情報の収集

事業 No. 14	事業名	観光情報発信事業		
観光課	事業概要	地域の情報を掲載した情報誌をテーマ別にまとめ、発行することにより、魅力ある観光情報を町内外へ発信する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○各種情報誌の発行				
決算額	7,123 千円	決算見込額	5,492 千円	予算額 5,526 千円

事業 No. 15	事業名	土肥会創立 90 周年記念事業		
観光課	事業概要	土肥会が令和 2 年度で 90 周年の節目を迎えたため、記念式典・講演会等の実施により、土肥会の活動の周知を図る。		
ソフト事業				
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度
○創立 90 周年記念式典・講演会の開催				
決算額	1,070 千円	決算見込額	—	予算額 —

事業 No. 16	事業名	五段の滝整備事業		
観光課	事業概要	観光スポットである五段の滝について、更に観光客にアピールしていく。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○樹木の伐採				
決算額	314 千円	決算見込額	－	予算額 ー

事業 No. 17	事業名	ロケツーリズム推進事業
観光課	事業概要	テレビの持つ影響力やインターネット関連の映像コンテンツの拡散力を活用し、湯河原を知るキッカケや新たな観光資源を生み出すことにより、これまでの観光施策や移住施策では情報や魅力が届かなかった方々に、本町を訪れていただくことによる経済効果及び「また湯河原にきたい」と感じてもらうことで、関係人口を創出し、移住に結び付けることを目指す。
ソフト事業		
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度
○ロケ誘致		
○ロケツーリズム協議会へ加盟		
決算額	8,940 千円	決算見込額 8,150 千円
		予算額 8,050 千円

⑥箱根ジオパークの活用

事業 No. 18	事業名	企画政策事務経費（箱根ジオパーク協議会負担金）		
地域政策課	事業概要	箱根ジオパーク推進協議会によるジオサイト整備、ガイド養成、モニターツアー開催、広報などを行い、箱根ジオパークを通じて地域への愛着や自然保護への関心を高める。また、広域連携による観光産業の振興や、地域資源の発掘を図る。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○箱根ジオパークに係る事業を実施		→		
決算額	600 千円	決算見込額	600 千円	予算額 600 千円

⑦ハイキングコースの充実

事業 No. 19	事業名	観光施設維持管理経費（ハイキングコース修繕）
観光課	事業概要	鎌倉幕府開運街道など町内のハイキングコースの維持管理を行い、本町の魅力的な観光資源として誘客を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ハイキングコースの整備		2023（令和5）年度
決算額	600 千円	決算見込額 600 千円
		予算額 600 千円

(2) 観光施設の整備・充実、個性化

①県立奥湯河原自然公園の整備

事業 No. 20	事業名	湯河原自然郷整備事業
まちづくり課	事業概要	県立奥湯河原自然公園の池峯「もみじの郷」の、もみじの植栽やハイキングコースの整備を行い、自然とのふれあいができる場としての拠点的な活用を図る。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○枝打ち・間伐及び補植等維持管理		2023（令和5）年度
決算額	2,052 千円	決算見込額 2,173 千円
		予算額 2,174 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 3-I-2-(1)-①山間部の保全と活用】

②観光施設の活用

事業 No. 21	事業名	海水浴場運営事業
観光課	事業概要	夏季における集客の1つである「海水浴場」について、安全・安心して楽しんでいただけるよう監視・救助及び海水浴場の整備を図る。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○海水浴場の運営		2023（令和5）年度
決算額	10,600 千円	決算見込額 12,356 千円
		予算額 14,087 千円

事業 No. 22	事業名	万葉公園管理経費
観光課	事業概要	令和3年度にリニューアルオープンする万葉公園を指定管理により、管理・運営する。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○指定管理者による管理・運営		2023（令和5）年度
決算額	44,870 千円	決算見込額 43,310 千円
		予算額 43,371 千円

事業 No. 11	事業名	こごめの湯運営事務経費
-----------	-----	-------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(1)-②民間活力の活用】

事業 No. 23	事業名	温泉場ぶらりお休み処運営事業
地域政策課	事業概要	観光客が気軽に立ち寄れ、休憩場所の提供や観光ボランティアによる案内を行うことにより、湯河原温泉の「おもてなしの心」を発信する拠点として運営する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○維持管理		2023（令和5）年度
決算額	466 千円	決算見込額 604 千円
		予算額 604 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(3)-③拠点観光スポットの整備・活用】

③清流沿いの遊歩道の整備

事業 No. 24	事業名	藤木川遊歩道整備事業
土木課 ハード事業	事業概要	「さつきの郷」、「梅の郷」、「あじさいの郷」、「紅葉の郷」を線で結び、自然と文化を総合的に楽しめるネットワークとして、藤木川の遊歩道の整備を県の施工により護岸整備と併せて実施。散策を楽しむ観光客の安全を図るためにも、早期整備を要望する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○早期整備の要望活動を実施		→
○用地交渉		○用地買収
決算額	—	決算見込額 — 予算額 —

⑥万葉荘の活用

事業 No. 25	事業名	観光立町推進事業
観光課 ソフト事業	事業概要	「湯河原町観光立町推進計画」に基づき、町、町民、観光事業者、観光関係団体等が一体となって観光立町の実現に向けた施策を展開する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○観光立町に向けた施策を実施		→
決算額	8,788 千円	決算見込額 7,723 千円 予算額 9,293 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-I-1-(4)-①観光サービス業研修会の支援、基本目標1-I-1-(5)-②観光意識の醸成】

(3) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

①観光イベント・施設情報の発信

事業 No. 26	事業名	街歩き情報配信サービス促進事業
デジタル推進室 ソフト事業	事業概要	街歩き観光・防災情報配信アプリ「ココシル湯河原」を使用し、お店の情報や目的地までの道案内など町内の観光情報を配信し、観光客へ情報提供する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○システムの運用管理		→
決算額	462 千円	決算見込額 231 千円 予算額 —

②インターネットを使った観光情報発信の充実

事業 No. 27	事業名	誘客宣伝事業
観光課 ソフト事業	事業概要	大手旅行情報誌のインターネットを活用した観光PRを展開する。また、新聞等へ各種イベントの広告掲載、イベント来場者や誘客キャラバンにおいて、宣伝グッズを配布し、誘客活動を展開する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○インターネットによる観光PRを実施		→
○誘客キャラバン等の誘客活動を実施		→
○ポスターの作成		→
決算額	8,920 千円	決算見込額 10,100 千円 予算額 10,100 千円

③拠点観光スポットの整備・活用

事業 No. 28	事業名	周遊型謎解き宝探し事業			
観光課	事業概要	町内周遊型の謎解き宝探し事業を実施し、観光施設や商店などの周遊性を高め、地域産業の活性化を図るとともに、町民にも参加してもらうことで、郷土愛等の醸成を図る。			
ソフト事業					
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
		○事業実施		→	
決算額	－	決算見込額	3,000 千円	予算額	5,184 千円

事業 No. 23	事業名	温泉場ぶらりお休み処運営事業
-----------	-----	----------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-I-1-(2)-②観光施設の活用】

⑤観光アドバイザーの活用

事業 No. 29	事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業		
観光課	事業概要	観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開などについて専門的な知識を持つアドバイザーからの助言を受けるとともに、SNSに対応したプロモーション活動を実施する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○観光アドバイザーとの連携				
○「人を癒して1200年」ロゴの活用				
○SNSによる観光情報などの発信				
決算額	3,860 千円	決算見込額	3,000 千円	予算額 3,000 千円

⑥インバウンドの情報発信

事業 No. 30	事業名	インバウンド情報発信推進事業			
観光課	事業概要	外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語ホームページの拡充及び外国語パンフレットのリニューアル等を行う。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○SNS を活用した海外への情報発信の実施					
○HP 及びパンフレットの充実					
決算額	1,000 千円	決算見込額	1,000 千円	予算額	1,000 千円

(4) 観光人材育成と団体活動の活性化

①観光サービス業研修会の支援

事業 No. 25	事業名	観光立町推進事業
-----------	-----	----------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-I-1-(2)-⑥万葉荘の活用】

(5) おもてなしの向上

①観光ボランティアの活動の推進

事業 No. 31	事業名	ボランティア推進事業		
地域政策課	事業概要	活動用ウィンドブレーカーなどの購入やボランティア保険への加入など、ボランティア活動の支援を行う。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○ボランティア活動に対する助成金				
決算額	321 千円	決算見込額	392 千円	予算額 518 千円

②観光意識の醸成

事業 No. 25	事業名	観光立町推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1- I-1-(2)-⑥万葉荘の活用】		

2 温泉	計画書 P37
○温泉資源の保護や有効活用に取り組み、施設の計画的な改修を行い、安定した温泉供給を行うとともに、効率的な企業経営を行います。	

(1) 温泉設備の適正管理

①町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営

事業 No. 32	事業名	源泉施設等改修事業
温泉課 ハード事業	事業概要	各源泉施設等が設置から約 50 年が経過し、老朽化が著しく、源泉施設等の改修を、計画的に行うことで温泉の安定供給を図るもの。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○温泉施設等改修事業		2023（令和 5）年度
決算額	12,656 千円	決算見込額 2,272 千円 予算額 14,190 千円

事業 No. 33	事業名	温泉送配湯管等施設改修事業
温泉課 ハード事業	事業概要	老朽化した温泉送配湯管等施設の保守点検を行い、支障箇所を計画的に改修する事で、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努める。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○温泉送配湯管等施設改修		2023（令和 5）年度
決算額	8,702 千円	予算額 14,113 千円 予算額 19,600 千円

(2) 温泉の資源保護と有効活用

①温泉の資源保護

事業 No. 34	事業名	温泉資源保護事業（揚湯調整）
温泉課 ソフト事業	事業概要	使用量の減少する 6 月から 9 月にかけて揚湯を停止し、資源保護に努める。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○3 源泉の揚湯調整		2023（令和 5）年度
決算額	—	決算見込額 — 予算額 —

II 地域産業の振興

3 商業・サービス業

計画書 P 38

○商業・サービス業の発展を図るために、歩道や街路灯などの商店街の環境整備を進める一方、観光客を含めた消費者ニーズに合った商品・サービスの提供、周遊性を高めるシステムづくり、商店街のにぎわいを演出する交流拠点づくり、地域資源を活用した商店街の特色づくり、商工業共同の製品開発、設備の近代化促進、創業・第二創業を支援します。また、町内消費拡大のため、商店街の振興に努めます。

○町民、観光客(外国人を含む)が町内での買物等の際にスマートフォン等のキャッシュレス決済で支払いができるよう、店舗等の決済環境の整備を行い、地域での生活環境の向上及び消費の活性化を図ります。

○空き店舗等の活用対策として、地域住民のにぎわいを取り戻し、再生させるための交流スペース等の整備を図ります。

○湯河原の豊かな自然や文化、歴史などの特性を生かして生産・加工され、「made in ゆがわら」認定審査委員会にて承認された魅力ある特産品について、湯河原ブランドとしてのブランド力の向上を図り、地域の活性化を図ります。

【参考となる指標】 地域商品券発行数

実 績	
令和 2 年度 5, 000 冊	令和 3 年度 5, 000 冊

令和 12 年度の目標
5, 000 冊

【参考となる指標】 made in ゆがわらの認定数

実 績	
令和 2 年度 16 品	令和 3 年度 16 品

令和 12 年度の目標
30 品

(1) 商業基盤の整備

⑤空き店舗対策の支援

事業 No. 35	事業名	事業発展支援事業
観光課 ソフト事業	事業概要	町内の生産者・事業者のマーケティング調査を実施し、伴走型の創業支援及び町外の販売チャンネルとのマッチングを実施する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		○創業支援セミナー実施 ○市場マーケティング調査
決算額	—	決算見込額 3,200 千円
		予算額 3,200 千円

(2) 団体活動の活性化と人材育成

①商工業関連団体間の提携・交流強化

事業 No. 12	事業名	made in ゆがわら認定事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-I-1-(1)-③名物料理・商品の開拓】		
事業 No. 36	事業名	商工業振興事業補助金
観光課 ソフト事業	事業概要	地域産業の振興に寄与する産業祭、商業振興事業及び工業振興事業への助成を行い、商工業の活性化を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各種振興事業を助成		
決算額	800 千円	決算見込額 800 千円
		予算額 800 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標1-II-2-(2)-①商工業関連団体間の提携・交流強化（再掲）】

事業 No. 37	事業名	商店街振興事業		
観光課	事業概要	地域商品券の発行に対し助成を行い、不況対策と地域商店街の活性化を図る。		
ソフト事業		また、商店街連合会が主催するイベント及び商店街振興事業に対し助成を行い、商工業の活性化を図る。		
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○各種振興事業を助成				
決算額	7,960 千円	決算見込額	8,390 千円	予算額 5,540 千円

4工業

計画書 P41

○工業の発展を図るために、観光客を含めた消費者ニーズに合った商品・サービスの提供（見せる工場等の特性を出した経営形態）、商工業共同の製品開発、設備の近代化促進、創業・第二創業を支援します。

【参考となる指標】made in ゆがわらの認定数（食品以外）

実 績	
令和 2 年度 1 品	令和 3 年度 1 品

(1) 工業基盤の整備

①観光ニーズに合った製品の共同開発

事業 No. 12	事業名	made in ゆがわら認定事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(1)-③名物料理・商品の開拓】		

5農業

計画書 P42

○農業を活性化するため、本町の農地環境に適した新たな農産物又は改植、付加価値の高い農産物の生産拡大に努め、耕作放棄地解消対策及び有害鳥獣対策を進めることによって、農家の生産意欲向上に努め、地産地消を推進します。

【参考となる指標】有害鳥獣の駆除数

実 績	
令和 2 年度 255 頭	令和 3 年度 128 頭

令和 12 年度の目標
350 頭

【参考となる指標】農業経営合理化振興補助金の申請件数

実 績	
令和 2 年度 101 件	令和 3 年度 83 件

令和 12 年度の目標
100 件

(1) 農業生産基盤の整備

②広域農道の整備

事業 No. 38	事業名	県営土地改良広域農道（小田原湯河原地区）整備事業		
農林水産課	事業概要	小田原から湯河原に至る広域農道を、県の施工により基幹的農道として整備することで、主要作物である柑橘等の振興を図るとともに、生産から流通までの一体的な整備と観光農業の振興を進め、地域の活性化を図る。また、災害時や緊急時など小田原方面への新たなルートとして利便性が高まる。		
ハード事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○農道開設工事を負担 ・鍛冶屋吉浜工区実施		・吉浜黄金松工区実施 ・鍛冶屋橋梁部の供用開始手続		・道路の開設工及び用地買収を実施
決算額	7,700 千円	決算見込額	11,017 千円	予算額 13,212 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 3-IV-1-(2)-③広域農道の早期完成】

③有害鳥獣による被害への対応

事業 No. 39	事業名	有害鳥獣等被害対策事業		
農林水産課	事業概要	町鳥獣対策協議会が行う野猿の追い払い活動に対する支援や、被害対策として農家や町民に駆除用花火の配布を行う。また、猟友会にイノシシの捕獲について檻・わなの設置を依頼し、被害軽減を図る。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○鳥獣対策協議会の活動を支援				→
○駆除対策を支援				→
決算額	2,965 千円	決算見込額	3,068 千円	予算額 3,115 千円

(2) 農業経営の高度化の促進

①耕作放棄地対策

事業 No. 40	事業名	農地保全活動事業		
農林水産課	事業概要	モデル事業として、耕作放棄地となっている農地を（8,666 m ² を5年間）無償で借上げ、菜の花などの景観作物の作付けを行い、農地の有効利用等の促進を図る。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○景観作物の作付けを実施		→		
決算額	310 千円	決算見込額	599 千円	予算額 769 千円

④農業経営の安定化の推進

事業 No. 41	事業名	農業経営合理化振興事業			
農林水産課	事業概要	優良系統更新・改植、鳥獣害防止対策など農業経営合理化振興事業補助金交付要綱に基づき助成を行う。			
ソフト事業					
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
○農業経営合理化振興事業を助成		→			
決算額	1,823 千円	決算見込額	1,055 千円	予算額	2,010 千円

⑧朝市・直売化の促進

事業 No. 42	事業名	地産地消推進事業
農林水産課	事業概要	地場で生産される農産物等を地場で消費されるよう、専業農家を中心に生産者が直接地元で販売を行うことを支援することで、農家の経営意欲の向上と耕作放棄地などの解消を図る。
ソフト事業		
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度
○地産地消推進事業を助成		
決算額	44 千円	決算見込額 30 千円 予算額 100 千円

(3) ふれあい農園・遊休農地の活用

①ふれあい農園の規模拡大

事業 No. 43	事業名	ふれあい農園振興事業
農林水産課 ソフト事業	事業概要	ふれあい農園の維持管理を行い、町民に身近な農業体験の場を提供し、農業に対する理解を深めるとともに、農地の有効利用や地域の活性化を図る。また、耕作放棄地等の解消につなげる。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ふれあい農園の維持管理 ・6農園、160区画		・6農園、160区画
決算額	1,632 千円	決算見込額 2,279 千円
		予算額 2,513 千円

6 林業

計画書 P 45

○適正管理されていない荒廃した森林の整備について、県の補助制度や、森林環境譲与税を活用し、湯河原町森林整備計画に基づく、周辺の環境と調和した森林整備を行います。また、ボランティアなどの協力を得ながら「湯河原町森林づくり条例」の趣旨に則り、山林所有者と協議し、適正管理できるよう支援・協力します。

【参考となる指標】地域水源林整備の5か年計画に基づく整備面積

実績	見込	令和12年度の目標
令和2年度 23.7ha	令和3年度 14.0ha	令和12年度までに 64.4ha 整備予定



(1) 林業基盤の整備

②生活環境保全林の整備

事業 No. 44	事業名	幕山保安林地域整備事業
農林水産課 ソフト事業	事業概要	湯河原梅林内の剪定・下刈・保安林内の散策路等の維持管理を実施し、梅林の保護、育成に努める。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○剪定等及び維持管理を実施		
決算額	14,931 千円	決算見込額 16,292 千円
		予算額 17,828 千円

③育林の指導援助

事業 No. 45	事業名	地域水源林整備事業
農林水産課 ソフト事業	事業概要	水源林エリア内の町有林・私有林について、水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指すため、5箇年計画を策定し、その計画に基づき除伐・間伐や枝打ちなど森林整備の推進を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○町有林等の除間伐及び枝打ちを実施 ○森林作業道整備などを実施		
決算額	29,364 千円	決算見込額 11,743 千円
		予算額 18,719 千円

7 漁業海業		計画書P47
○漁業を核とした海洋レジャーを含めた漁業振興のため、老朽化した漁業施設と漁場の維持を行い、安定した漁獲量の確保、流通販路の拡大、魚食の普及に取り組み、漁業所得の向上を図ることにより、漁業活動を通じた地域振興、地産地消を推進します。		
【参考となる指標】海面漁業漁獲量		
実 績		令和12年度の目標
令和2年度 281.7 t	令和3年度 351.0 t	300.0 t

(1) 漁業生産基盤の整備

①稚魚・稚貝の放流による栽培漁業の促進

事業No. 46	事業名	漁業経営改善調査研究費補助金
農林水産課 ソフト事業	事業概要	人口魚礁での魚類繁殖保護のための調査及び研究を行い、稚魚・稚貝の放流に必要なデータを得ることで、漁業資源の増殖を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○研究調査費を助成		2023（令和5）年度
決算額	100 千円	決算見込額
		—
		予算額
		—

②担い手の育成と確保

事業No. 47	事業名	漁業振興対策事業
農林水産課 ソフト事業	事業概要	安全で就労しやすい労働環境への改善、後継者の確保、漁業経営の近代化・合理化の支援に対して助成する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○漁業施設近代化等を助成		2023（令和5）年度
決算額	950 千円	決算見込額
		900 千円
		予算額
		900 千円

-- III 雇用の確保 --

8 雇用対策		計画書P49
○時代の流れと、就業形態に即した雇用環境の整備を図るため、関係する法律や制度の内容を広報するとともに、情報を収集し、ゆがわら男女共同参画プランで示す女性の活躍促進を図りつつ、男女ともに働きやすい環境づくりに努めます。また、雇用の安定を図る取組みを進めていくとともに、「第2期 湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」に基づく事業を各分野の団体等と連携しながら実施し、新たな雇用の創出や働き手の確保に努めます。		
【参考となる指標】雇用支援プラットフォーム掲載事業者数（累計）		
実 績		令和12年度の目標
令和2年度 3 件	令和3年度 11 件	30 件

(1) 就業の促進

①就業機会の拡大

事業No. 48	事業名	雇用確保支援事業
地域政策課 ソフト事業	事業概要	箱根町と雇用支援プラットフォームを共同で構築し、高齢者及び子育て後の女性をターゲットに雇用支援を後押しする。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○雇用支援プラットフォームの運営		2023（令和5）年度
○セミナーの開催		○個別サポート体制の整備
決算額	1,882 千円	決算見込額
		1,876 千円
		予算額
		1,879 千円

9 勤労者福祉	計画書 P51
○勤労者の福利厚生への支援に努めます。	

IV 地方創生の推進

10 地方創生	計画書 P52
○地方創生のためには、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産・官・学・金・労・言）が連携し、適切な目標設定のもとで、まち・ひと・しごと創生に一体的に取り組む必要があります。	
○本町では、地方版総合戦略「第2期 湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」を令和2年（2020 年）4 月に策定し、内閣府の交付金も活用しながら、湯河原の魅力を高め、国の内外から訪れたいと思われるまちにしていけるために、行政と関係団体が一体となって地方創生に取り組みます。また、町内の空き家・空き店舗の状況を把握するとともに、他市町と連携した広域的な取組みによる効果的な利活用の方法を検討します。	

(1) 就労環境の整備

③空き家・空き店舗の活用

事業 No. 49	事業名	空き家対策推進事業
地域政策課	事業概要	空き家対策を推進するため、法に基づく空き家等対策推進協議会を開催し、特定空き家等の認定及び適正な管理指導を図るとともに、所有者に対して空き家の利活用を推進する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○空き家等対策推進協議会の開催		→
○特定空き家等の認定・適正管理指導等		→
○空き家等の利活用促進		→
決算額	868 千円	決算見込額 285 千円 予算額 924 千円

(2) 移住の促進

①移住促進のための居住環境等の整備

事業 No. 50	事業名	誰もが主役のプラットフォームマッチング事業
地域政策課	事業概要	町に貢献したい人やプロジェクトをもった人、町の活性化に役立つ情報を持った人や移住希望者をマッチングする機能を持った場所をつくり、移住の促進、交流人口の増加等を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○拠点整備		→
○拠点運営		→
○わかもの会議の開催		→
		○移住サポーター制度の実施 →
決算額	6,700 千円	決算見込額 58,778 千円 予算額 9,042 千円

事業 No. 51	事業名	新たな温泉資源活用事業
観光課	事業概要	本町の温泉資源の新たな活用として、自宅でも温泉入浴を楽しめる「クラフト温泉」を開発・商品化し、本町の魅力である「湯河原の癒し」を全国発信し、認知度の向上による来訪機会の創出を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○商品開発・プロモーション		→
○クラフト温泉を活用した地域活性化の検討		→
○販売チャンネルの確立		→
決算額	8,000 千円	決算見込額 12,000 千円 予算額 14,000 千円

(1)～(4)を通じて

事業 No. 52	事業名	企画政策事務経費（地方版総合戦略推進事業）			
地域政策課	事業概要	将来人口推計（人口ビジョン）をもとに、官民など各分野が一体となって産業の活性化、移住促進、子育て環境整備や高齢化対策などを総合的に推進するための「地方版総合戦略」を策定し、PDCA サイクルによる改善、見直しを毎年行う。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○プランの進捗管理					
決算額	65 千円	決算見込額	115 千円	予算額	180 千円

基本目標2 とともに支え合い笑顔で暮らせるまちづくり

Ⅰ 保健・医療の充実

いつまでも健やかに元気で暮らすために、自らが病気の予防と心身の健康管理が行えるよう健康増進に取り組みます。また、感染症等の対策についても関係機関と連携し、地域医療の充実に努めます。

分野	主要施策	細施策
1 健康づくり	(1) 健康増進・食育の推進	①健康増進計画・食育推進計画の推進 p. 24 ②健康づくり意識の啓発 p. 24 ③健康管理情報システム化の推進 ④生活習慣病予防対策の推進 ⑤こころの健康づくりの推進 p. 25 ⑥地域における健康づくりの推進 p. 25
	(2) 母子保健の推進	①母子保健の推進 p. 25
2 予防対策	(1) 各種検診の推進	①検診受診率の向上 p. 26 ②がん予防などの正しい知識の普及啓発
	(2) 感染症対策の推進	①予防接種率の向上 p. 26 ②感染症に関する正しい知識の普及啓発 p. 27
3 医療	(1) 地域医療体制の充実	①関係機関との連携と医療体制の充実 p. 27 ②地域医療についての周知と啓発 ③救急医療体制の強化

Ⅱ 共生社会の実現

誰もがその人らしく生活できる環境づくりを支えながら、笑顔で生き生きと暮らせるよう、各種福祉施策を展開し、また、関係機関と連携することで、誰一人取り残されない社会の実現に努めます。

分野	主要施策	細施策
4 地域福祉	(1) 地域福祉の総合的展開	①地域福祉計画の策定 ②保健・医療・福祉・介護の連携 ③相談体制の充実 ④社会福祉協議会の充実 p. 27 ⑤権利擁護・財産保全体制の確立 ⑥みんなにやさしいまちの実現 ⑦人権施策の推進 ⑧地域会館の活用促進 p. 27
	(2) 地域福祉活動への参加促進	①ボランティア活動の促進 ②地域各種団体のネットワーク体制の確立
5 児童福祉・子育て支援	(1) 子どもたちが生き生きと育つための環境づくり	①子どもの権利の尊重 ②健全な遊び場や交流の場の確保
	(2) 子育て支援サービスの充実	①幼児保育サービスの整備・充実 p. 28 ②子育て相談体制の充実
6 障がい児者福祉	(1) 障がい児者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	①社会参加・就労・就学などの支援 p. 29 ②スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進 p. 29 ③特別支援教育の充実 p. 30
	(2) 各種サービスの基盤整備	①保健・医療の充実 p. 30 ②在宅サービスの充実 p. 30 ③住宅設備の改良 p. 30 ④各種サービスの円滑な提供 p. 30
	(3) 地域支援体制の確立	①ボランティアなどの活動の促進 ②啓発活動の推進
7 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	①社会参加・就業の支援 p. 31 ②文化学習・スポーツ活動などの推進
	(2) 地域生活支援体制の整備	①地域包括ケアシステムの確立 p. 32 ②ボランティア活動の促進 p. 32 ③グループリビング(宅老所)事業の推進 p. 32 ④高齢者世帯に対する支援 p. 32

Ⅲ 社会保障の充実

保険・年金制度の適正な運営と生活支援対策の充実を図り、いざというときに頼りになるセーフティネットの確立に努めます。

分野	主要施策	細施策
8 介護保険	(1) 利用者の立場に立った介護保険サービスの推進	①介護保険サービスの充実と保険給付適正化の推進・・・p. 33
	(2) 高齢者を地域全体で支える仕組みづくり	①地域包括ケアシステムの確立（再掲）・・・p. 34 ②認知症施策・権利擁護の推進・・・p. 34 ③生きがいづくり・社会参加の促進 ④地域包括支援センターの円滑な運営・・・p. 35
	(3) 健康づくりと介護予防の推進	①地域支援事業による介護予防の推進・・・p. 35
	(4) 地域の実情に応じたサービスの推進	①地域密着型サービスの整備 ②住み慣れた地域で暮らし続けるサービスの推進
	(5) 介護保険制度の適切な運営	①介護保険制度の適切な運営・・・p. 35
9 社会保険	(1) 国民健康保険制度の適切な運営	①安定的な事業運営 ②特定健康診査・特定保健指導の推進・・・p. 36 ③被保険者への保健事業の推進・・・p. 36
	(2) 国民年金事務の実施	①年金情報の提供と相談の実施
	(3) 後期高齢者医療制度の適切な運営	①安定的な事業運営 ②後期高齢者健康診査の実施・・・p. 37
10 生活支援・ひとり親福祉	(1) 自立支援と最低生活保障	①生活困窮者への支援 ②生活保護事業の推進 ③町営住宅の整備検討・・・p. 37
	(2) ひとり親家庭への支援	①相談活動の強化 ②援護サービスの充実

Ⅰ 保健・医療の充実

1 健康づくり

計画書 P55

- 乳幼児から高齢者までの健康の維持と増進に向けて、疾病の予防と早期発見、生活習慣病などの改善のため、受診勧奨や啓発による受診率の向上に努め、健康診査などの充実を図り、町民一人ひとりが自発的に健康づくりに取り組めるよう支援し、健康増進計画・食育推進計画の着実な推進に努めます。
- 母子保健事業においては、令和2年度（2020 年度）に「湯河原町母子保健型子育て世代包括支援センター（通称名：ほんわか）」を設置しました。妊娠期から子育て期まで、助産師・保健師等が面接や家庭訪問で、心身の健康の基盤をつくる母子の愛着形成に重点をおき、母子ともに「自己肯定感」を高められるようサポートします。産後ケア事業等も充実させ、母親が心身ともにセルフケア能力が向上するよう、産前産後も切れ目のない支援をしていきます。
- こころの健康づくりへの支援を進め、自殺予防、将来の疾病予防に向け力を入れていきます。
- 県が進める「未病」を改善する取り組みや「健康寿命日本一」をめざす取り組みと連携し、高齢者がより健康で元気に生活できる町をめざします。

【参考となる指標】子育て世代包括支援センターの利用者数

実 績	
令和 2 年度 620 人	令和 3 年度 750 人



令和 12 年度の目標
800 人

(1) 健康増進・食育の推進

①健康増進計画・食育推進計画の推進

事業 No. 53	事業名	湯ったりゆがわら『健幸』プラン（健康増進計画・食育推進計画）推進事業			
保健センター	事業概要	健康寿命の延伸をメインテーマにライフステージごとの健康づくりを進めるための事業を実施し、計画を町民主体の健康づくりのプログラムとして、健康寿命の延伸、医療費の低下等につなげる。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○第2期計画の推進					
決算額	513 千円	決算見込額	655 千円	予算額	907 千円

事業 No. 54	事業名	食生活改善推進事業		
保健センター	事業概要	家庭における食生活に対する正しい理解と改善に向かう意識を普及し、実践させるため、各種教室を開催し食育の場を設けるとともに、食生活の改善を推進する団体の育成などを行う。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○食生活の改善を推進する団体の養成・育成				→
○各種教室で食育を普及				→
○節塩教室の実施				→
決算額	53 千円	決算見込額	169 千円	予算額 295 千円

②健康づくり意識の啓発

事業 No. 55	事業名	健康増進事業		
保健センター	事業概要	町民健康デーでの健康づくりの知識普及、糖尿病教室やヘルシープラザでの運動教室等の開催、各種検査などを行い、生活習慣病の早期発見、健康に対する正しい知識の普及により、生活習慣病予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制を図る。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○町民健康デー、糖尿病教室、減塩（節塩）教室、運動教室を開催				
決算額	3,902 千円	決算見込額	1,815 千円	予算額 2,261 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標2-I-1-(1)-⑥地域における健康づくりの推進】

⑤こころの健康づくりの推進

事業 No. 56	事業名	地域自殺対策強化事業
保健センター	事業概要	精神的な支援を必要とする住民への相談や講演会・研修会の場を開催し、ゲートキーパーの養成、誰もが心身ともに健全に生活できる整備を行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ゲートキーパー養成研修を開催		
○心の健康づくりのための研修会		
○こころの健康相談会		
決算額	620 千円	決算見込額 716 千円
		予算額 1,238 千円

⑥地域における健康づくりの推進

事業 No. 55	事業名	健康増進事業
-----------	-----	--------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 2-I-1-(1)-②健康づくり意識の啓発】

(2) 母子保健の推進

①母子保健の推進

事業 No. 57	事業名	母子保健事業
保健センター	事業概要	妊娠、出産、育児の各ステージにおいて、一貫した母子保健サービスを行い、保健、医療、福祉、教育関係者及び地区組織との連携しながら、健全な母子の育成、子育て支援の充実を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各種健診や教室を開催		
○相談、訪問を実施		
○母子保健推進員の育成		
○未熟児訪問指導、未熟児養育医療給付を実施		
決算額	14,350 千円	決算見込額 12,607 千円
		予算額 13,451 千円

2 予防対策

計画書 P58

○「自分の健康は自分でつくり守る」という視点に立った自主的健康管理思想の普及・啓発に努め、各種がん検診や予防接種などの受診勧奨による一次予防の推進を図ります。

○医師会とも連携を図りながら、各種事業を効率的に展開します。

【参考となる指標】がん検診集団受診者数

実績	
令和2年度 2,179 人	令和3年度 2,475 人



令和12年度の目標
2,900 人

【参考となる指標】予防接種実施機関数

実績	
令和2年度 21 箇所	令和3年度 21 箇所



令和12年度の目標
21 箇所

(1) 各種検診の推進

①検診受診率の向上

事業 No. 58	事業名	健康増進事業（がん検診）
保健センター ソフト事業	事業概要	国の指針に沿った方法の5つのがん検診に加え、胃リスクABC検診を実施。 特定の年齢の人に、子宮、乳がん検診の無料クーポン券を発行することにより、 がんの早期発見、早期治療につながるよう受診勧奨を行う。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各種がん検診を実施		→
○クーポン発行による受診促進		→
○広報やチラシによる情報提供		→
○胃がんリスク検診を実施		→
○特定健診を同時実施（集団検診）		→
決算額	21,792 千円	決算見込額 22,028 千円 予算額 25,174 千円

(2) 感染症対策の推進

①予防接種率の向上

事業 No. 59	事業名	予防接種事業
保健センター ソフト事業	事業概要	乳幼児、児童及び生徒に対し、小児用肺炎球菌ワクチンなどの予防接種を実施 するほか、高齢者に対するインフルエンザ・肺炎球菌予防接種などを実施し、感 染症予防に努める。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各種予防接種を実施		→
○感染症予防に関する知識の普及啓 発を実施		→
決算額	321,704 千円	決算見込額 248,738 千円 予算額 56,297 千円

②感染症に関する正しい知識の普及啓発

事業 No. 60	事業名	抗原検査キット等備蓄事業
消防本部 ソフト事業	事業概要	学校や事業所等で新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された際、県が検査 を実施する濃厚接触者以外の方を対象に、自身が感染しているか迅速に判断でき るよう抗原検査キットを購入し備蓄する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○検査キット等の購入		
決算額	6,145 千円	決算見込額 - 予算額 -

3 医療

計画書 P59

○社会情勢の変化や町民のニーズを適切に捉え、町民本位でより充実した医療体制の整備と関係機関との連携を
図ります。

【参考となる指標】日・祝日の一次救急医療の委託医療機関数

実 績		令和12年度の目標
令和2年度 15 施設	令和3年度 15 施設	15 施設

(1) 地域医療体制の充実

①関係機関との連携と医療体制の充実

事業 No. 61	事業名	保健衛生事務経費（地域医療連携推進事業運営費負担金等） 救急医療推進対策事業、広域病院群輪番制事業
保健センター ソフト事業	事業概要	救急医療に関しては、小田原医師会湯河原班の協力による日曜、祝日及び年末年始の在宅当番医制度、小田原市休日夜間急患診療所及び2市8町での広域二次病院群輪番制で対応し、救急医療、災害時医療、地域医療の維持確保に努める。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各救急医療等の運営費を負担		2023（令和5）年度
○救急医療推進対策を委託		
決算額	12,709 千円	決算見込額 12,064 千円 予算額 12,066 千円

-- II 共生社会の実現 --

4 地域福祉	計画書 P61
○それぞれが互いに助け合い、安全で安心して過ごすことのできる地域づくりをめざし、町民と行政、関係機関、関係団体などによる協働、連携を図りながら、地域福祉の充実、推進に努めます。	
【参考となる指標】利用時間数	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 4,955 時間	12,500 時間
令和3年度 8,284 時間	
【参考となる指標】会館の使用料	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 1,127 千円	3,000 千円
令和3年度 1,883 千円	

(1) 地域福祉の総合的展開

④社会福祉協議会の充実

事業 No. 62	事業名	湯河原町社会福祉協議会補助金
社会福祉課 ソフト事業	事業概要	湯河原町社会福祉協議会に対し、地域福祉活動の拠点として効率的な運営、事業活動の促進等のために必要な補助を行うことにより、子どもから高齢者、障がい児者等、町民の誰もが元気に支え合い、安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○運営費を助成		2023（令和5）年度
決算額	25,146 千円	決算見込額 25,844 千円 予算額 26,600 千円

⑧地域会館の活用促進

事業 No. 63	事業名	地域福祉会館改修事業
社会福祉課 ハード事業	事業概要	町内9会館の施設について、老朽化箇所の改修を順次行い、地域住民の利便性などの向上を図るとともに、今後の地域福祉会館のあり方について、所管課及び公の施設等整備調査特別委員会において検討を行う。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○城堀会館建物・設備調査委託		2023（令和5）年度
○文化福祉会館外壁補強塗装工事		○城堀会館改修工事
○文化福祉会館基本構想策定等業務支援委託		
決算額	20,031 千円	決算見込額 21,395 千円 予算額 235,110 千円

5 児童福祉・子育て支援

計画書 P64

○「第2期湯河原町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「自然とやさしさの中で健やかに子どもが育つまち」の実現をめざします。

○「第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」に基づき、若い世代の結婚・出産・子育てについての施策を推進します。

【参考となる指標】ファミリーサポート活動実績

実 績	
令和 2 年度 409 件	令和 3 年度 293 件

令和 12 年度の目標
900 件

(2) 子育て支援サービスの充実

①幼児保育サービスの整備・充実

事業 No. 64	事業名	一時預かり事業
こども支援課 ソフト事業	事業概要	近年の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の傷病等による緊急時における保育及び核家族化の進行等による保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担を軽減するなどの保育需要に対応するため、一時保育を実施する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○一時保育を実施		→
○短時間預かり事業を実施 （子育て支援センター）		→
決算額	26 千円	決算見込額 226 千円 予算額 252 千円

事業 No. 65	事業名	子育てサロン運営事業
こども支援課 ソフト事業	事業概要	親子が一緒になって気楽に交流できる場所を提供し、子育て相談、指導及び情報提供のほか、子育てに関する講座等を開催し、育児中の母親等を支援する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○子育てサロンを運営		→
○子育てに関する講座等を開催		→
決算額	643 千円	決算見込額 244 千円 予算額 342 千円

事業 No. 66	事業名	ファミリーサポートセンター事業
こども支援課 ソフト事業	事業概要	地域において子育ての支援を受けたい人と、支援を行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織を構築し、預かりなどのサービスの提供を行う。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ファミリーサポートセンターを運営		→
決算額	578 千円	決算見込額 889 千円 予算額 1,139 千円

事業 No. 67	事業名	子育て支援センター事業
こども支援課 ソフト事業	事業概要	地域の子育て支援事業を円滑に利用できるように相談や情報提供を行い、関係機関との連携を図り、子育て支援拠点施設として支援の充実を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○子育て支援センターを運営		→
決算額	472 千円	決算見込額 875 千円 予算額 520 千円

事業 No. 68	事業名	子育て支援紙おむつ等支給事業
こども支援課 ソフト事業	事業概要	子育てしやすい環境づくりに向けて、安心して子どもを生み育て、次世代を担う子どもの健やかな成長を応援する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○紙おむつ等支給事業を実施		2023（令和5）年度
決算額	4,855 千円	決算見込額 4,632 千円
		予算額 4,860 千円

6 障がい児者福祉	計画書 P 66				
○障がい者等が地域の中で「その人らしく暮らす」ことができるよう、適切な権利擁護が図られた上で、自助・共助・公助による支援により、障がい者等の「自己実現」が図られることをめざします。					
【参考となる指標】地域活動支援センター及び障がい者就業・生活支援センター数					
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th></tr> <tr> <td>令和2年度2施設</td><td>令和3年度2施設</td></tr> </table>		実績		令和2年度2施設	令和3年度2施設
実績					
令和2年度2施設	令和3年度2施設				
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">令和12年度の目標</th></tr> <tr> <td colspan="2">2施設</td></tr> </table>		令和12年度の目標		2施設	
令和12年度の目標					
2施設					
【参考となる指標】日常生活用具給付件数					
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th></tr> <tr> <td>令和2年度131件</td><td>令和3年度135件</td></tr> </table>		実績		令和2年度131件	令和3年度135件
実績					
令和2年度131件	令和3年度135件				
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">令和12年度の目標</th></tr> <tr> <td colspan="2">130件</td></tr> </table>		令和12年度の目標		130件	
令和12年度の目標					
130件					

(1) 障がい児者が生き生きと暮らしていくための環境づくり

①社会参加・就労・就学などの支援

事業 No. 69	事業名	障がい者就業・生活支援センター事業
社会福祉課 ソフト事業	事業概要	障がい者の就業・生活における自立支援を図るため、2市8町で障がい者就業・生活支援センターを運営し、障がい者の就業・生活に係る相談・支援を行う。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○運営費を負担		2023（令和5）年度
決算額	321 千円	決算見込額 318 千円
		予算額 316 千円

事業 No. 70	事業名	精神障がい者対策事業
社会福祉課 ソフト事業	事業概要	地域活動支援センターの運営費を1市3町で負担し、通所交通費の助成や生活教室などの開催により、精神障がい者の「自立と社会復帰」の促進を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○地域活動支援センター運営費を負担		2023（令和5）年度
○通所交通費を助成		
決算額	3,890 千円	決算見込額 3,810 千円
		予算額 4,659 千円

②スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進

事業 No. 71	事業名	心身障がい者福祉事務経費（県西地区障害者文化事業負担金等）
社会福祉課 ソフト事業	事業概要	スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進のため、県及び全国障害者スポーツ大会、県西地区みんなのつどいや障害者文化事業への参加者支援などを実施する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○スポーツ大会等への参加者支援		2023（令和5）年度
○文化事業運営費等の負担		
決算額	0 千円	決算見込額 0 千円
		予算額 38 千円

③特別支援教育の充実

事業 No. 72	事業名	障がい児介助員設置事業
学校教育課	事業概要	特別支援学級（知的・情緒・病弱）に在籍する児童・生徒の学級生活を担当教諭とともに支援をすることで、安全・安心な学校生活や学習活動が図られる。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○障がい児介助員を配置		
決算額	—	決算見込額 — 予算額 —

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-3-(1)-④特別支援教育の充実（再掲）】

(2) 各種サービスの基盤整備

①保健・医療の充実

事業 No. 73	事業名	重度障がい者医療費助成事業
社会福祉課	事業概要	重度障がい児者の経済的な負担を軽減するため、医療機関で保険診療を受ける場合に、保険対象の自己負担部分について医療費を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○医療費を助成		
決算額	66,123 千円	決算見込額 63,952 千円 予算額 66,538 千円

②在宅サービスの充実

事業 No. 74	事業名	地域生活支援事業
社会福祉課	事業概要	障がい児者がその有する能力及び適性に応じて、自立した日常生活を送ることができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた事業を実施する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○支援事業を実施		
決算額	25,991 千円	決算見込額 24,446 千円 予算額 27,592 千円

③住宅設備の改良

事業 No. 75	事業名	重度障がい者住宅設備改良費補助事業
社会福祉課	事業概要	在宅の重度障がい児者が生活環境の整備を図るために、住宅設備（浴室、トイレ、玄関、廊下など）を改良する経費を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○改良費を助成		
決算額	298 千円	決算見込額 534 千円 予算額 800 千円

④各種サービスの円滑な提供

事業 No. 76	事業名	障がい者自立支援給付等事業
社会福祉課	事業概要	障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスとして、居宅介護・同行援護などの訪問系サービス、療養介護・生活介護・自立訓練などの日中活動系サービスなどを提供する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○福祉サービスを提供		
決算額	423,225 千円	決算見込額 423,206 千円 予算額 436,844 千円

事業 No. 77	事業名	障がい福祉サービス等地域拠点事業所配置事業
社会福祉課	事業概要	在宅の重症心身障がい者など通常のサービス事業所では受入れが困難な方を対象に、県西2市7町で、緊急時に利用可能な短期入所及び居宅介護の拠点事業所を配置する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○拠点事業所の配置		2023（令和5）年度
決算額	377 千円	決算見込額 385 千円 予算額 404 千円

事業 No. 78	事業名	在宅重度障がい者等福祉タクシー利用助成事業
社会福祉課	事業概要	在宅の重度障がい者等の日常生活の利便と障がい福祉の促進を図るため、重度障がい者等がタクシー及び予約型乗合い交通「ゆたぼん号」を利用する場合において、その費用の一部を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○助成の実施		2023（令和5）年度
決算額	3,465 千円	決算見込額 3,099 千円 予算額 3,969 千円

7 高齢者福祉		計画書 P 69
○平成 18 年度(2006 年度)に策定した「湯河原町老人福祉計画(第3期介護保険事業計画)」において掲げた基本理念である「高齢者が安心と生きがいを実感できるまちづくり」を実現するための体制づくりを引き続き積極的に推進していきます。		
【参考となる指標】湯河原シルバー人材センター就業延べ人員		
実績		令和 12 年度の目標
令和 2 年度 4,714 人	令和 3 年度 6,038 人	6,500 人

(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり

①社会参加・就業の支援

事業 No. 79	事業名	老人クラブ活動等社会活動促進事業
介護課	事業概要	高齢者の生きがい・健康づくりを図るため、老人クラブの自主的な活動へ助成し、支援する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○老人クラブの活動を助成		2023（令和5）年度
決算額	831 千円	決算見込額 948 千円 予算額 954 千円

事業 No. 80	事業名	湯河原町シルバー人材センター補助金
介護課	事業概要	高齢者の経験豊かな知識と経験を活かすため、湯河原町シルバー人材センターへ運営費を助成し、社会参加の促進及び就労機会の充実を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○シルバー人材センター運営費を助成		2023（令和5）年度
決算額	3,300 千円	決算見込額 3,300 千円 予算額 3,300 千円

(2) 地域生活支援体制の整備

①地域包括ケアシステムの確立

事業 No. 81	事業名	在宅医療・介護連携推進事業
介護課	事業概要	在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置、地域の医療・介護関係者による会議の開催などにより、在宅医療と介護サービスが一体的に提供される体制の構築を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○多職種共同研修の開催		○在宅医療・介護連携会議開催
○在宅医療介護連携支援センターの運営補助		○医療・介護のサービスガイド改訂
		○在宅医療介護連携支援センターの運営補助
決算額	3,143 千円	決算見込額 3,602 千円
		予算額 3,767 千円

②ボランティア活動の促進

事業 No. 82	事業名	介護予防サポーター等養成事業
介護課	事業概要	生活支援・通いの場（一般介護予防）サポーター養成講座の開催やサポータースキルアップ研修の実施により、地域に根ざしたボランティア活動の促進を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○生活支援・通いの場サポーター、フレイルサポーター養成講座の開催		
○生活支援・通いの場サポーターフォローアップ研修の実施		
決算額	1,034 千円	予算額 385 千円
		予算額 649 千円

③グループリビング（宅老所）事業の推進

事業 No. 83	事業名	グループリビング（宅老所）運営事業等
介護課	事業概要	高齢者が気軽に立ち寄れる場として、「グループリビング」を開設し、高齢者の閉じこもりや孤立感の解消を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○グループリビングの運営		
決算額	311 千円	決算見込額 1,681 千円
		予算額 1,656 千円

④高齢者世帯に対する支援

事業 No. 84	事業名	介護・生活支援事業
介護課	事業概要	他者から支援を受けることが困難なひとりぐらし高齢者や高齢者世帯に対し、外出支援サービス、緊急通報体制等整備等の支援を実施する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○介護・生活支援事業		
○地域自立生活支援事業		
決算額	5,620 千円	決算見込額 5,693 千円
		予算額 5,693 千円

事業 No. 85	事業名	食の自立支援事業
介護課	事業概要	他者から支援を受けることが困難なひとりぐらし高齢者や高齢者世帯に対し、配食サービスを実施する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○食の自立支援事業		2023（令和5）年度
決算額	606 千円	決算見込額 490 千円 予算額 490 千円

事業 No. 86	事業名	介護用品支給事業
介護課	事業概要	他者から支援を受けることが困難なひとりぐらし高齢者や高齢者世帯に対し、介護用品の購入費を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○介護用品支給		2023（令和5）年度
決算額	399 千円	決算見込額 233 千円 予算額 400 千円

事業 No. 87	事業名	家族介護継続支援事業
介護課	事業概要	高齢者を在宅で介護する家族に対してリフレッシュや交流する機会を提供し、身体的、精神的負担の軽減を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ 家族介護継続支援事業		2023（令和5）年度
決算額	144 千円	決算見込額 89 千円 予算額 245 千円

Ⅲ 社会保障の充実

8 介護保険	計画書 P 71
○「高齢者が安心と生きがいを実感できるまちづくり」を実現するため、元気な高齢者を対象とした介護予防事業の推進を図るとともに、要介護状態となっても、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができる体制づくりを、より積極的に推進します。	
【参考となる指標】介護認定率	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 16.2% 令和3年度 16.4%	21.2%
【参考となる指標】介護予防事業教室参加者数	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 355 人 令和3年度 1,549 人	1,040 人
【参考となる指標】介護予防サービス	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 17 人 令和3年度 28 人	30 件

(1) 利用者の立場に立った介護保険サービスの推進

①介護保険サービスの充実と保険給付適正化の推進

事業 No. 88	事業名	介護サービス適正化事業
介護課	事業概要	介護サービス事業者等を対象とした講習会の開催（制度説明等）、介護サービス利用者に対する利用状況の周知により、介護保険給付の適正化を推進する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○介護サービス適正化事業		2023（令和5）年度
○ケアプラン点検の実施		
○住宅改修・福祉用具利用者に対するアンケート調査		
決算額	72 千円	決算見込額 176 千円 予算額 318 千円

(2) 高齢者を地域全体で支える仕組みづくり

①地域包括ケアシステムの確立（再掲）

事業 No. 89	事業名	地域ケア会議推進事業		
介護課	事業概要	医療、介護等の専門職や民生委員、社会福祉法人等の多様な関係者が協働し、介護等が必要な高齢者が住み慣れた住まいでの生活の支援を目的とした、生活支援と介護支援専門員等の資質向上のための会議を運営する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○地域ケア会議開催				→
○自立支援型地域ケア会議開催				→
○他事業との連携				→
決算額	83 千円	決算見込額	101 千円	予算額 126 千円

事業 No. 90	事業名	生活支援体制整備事業		
介護課	事業概要	日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るため、資源開発やネットワーク構築を担う生活支援コーディネーターを配置し、多様な提供主体等が参加し情報共有、連携強化を図る協議体を運営する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○生活支援体制整備協議体開催				
○生活支援コーディネーター活動支援				
○「地域支え合い便利帳」の改訂・配布				○「地域支え合い便利帳」の改訂・配布
決算額	2,786 千円	決算見込額	2,866 千円	予算額 3,419 千円

事業 No. 91	事業名	認知症総合支援事業
介護課	事業概要	関係機関等と連携し、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「認知症初期集中支援チーム」、「認知症地域支援推進員」の配置により支援体制を構築し、「認知症ケアパス」の配布等により認知症に関する知識や不安の軽減を図る。
ソフト事業		
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度
○支援チーム員会議の定期開催		
○地域支援推進員の活動支援		
○認知症ケアパス改訂・配布		○認知症ケアパス改訂配布
決算額	215 千円	決算見込額 38 千円
		予算額 327 千円

②認知症施策・権利擁護の推進

事業 No. 92	事 業 名	成年後見人制度申立等事業		
介護課	事業概要	町長が本人・親族等に代わって成年後見制度の申立を行い、審判請求費用及び成年後見人等の報酬を助成する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○成年後見制度申立				→
○審判請求費用助成				→
○成年後見人等報酬助成				→
決算額	21 千円	決算見込額	911 千円	予算額 1,888 千円

④地域包括支援センターの円滑な運営

事業 No. 93	事業名	地域包括支援センター事業			
介護課	事業概要	高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターを運営する。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○地域包括支援センター運営					
決算額	50,095 千円	決算見込額	50,741 千円	予算額	48,402 千円

(3) 健康づくりと介護予防の推進

①地域支援事業による介護予防の推進

事業 No. 94	事業名	介護予防把握事業		
介護課	事業概要	介護予防のため、健康相談や訪問指導の充実およびフォローアップ体制の強化を行うことで日常生活に支援を要する高齢者を早期に把握し、要介護状態の進行防止を図る。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○介護予防把握		→		
決算額	—	決算見込額	90 千円	予算額 90 千円

事業 No. 95	事業名	介護予防普及啓発事業			
介護課	事業概要	一般高齢者に対し、機能低下のみられる高齢者の症状に応じた教室、機能向上・維持教室を開催し、日常生活習慣の改善を図る。			
ソフト事業					
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
○介護予防普及啓発					
決算額	1,777 千円	決算見込額	2,141 千円	予算額	2,680 千円

(5) 介護保険制度の適切な運営

①介護保険制度の適切な運営

事業 No. 96	事業名	介護保険事業計画策定事業	
介護課	事業概要	「介護保険事業計画」の策定を3年を一期とし、①住民の意見の反映、②適正な介護保険料の算定、③介護保険制度と高齢者保健福祉サービスとの調整を図る。また、円滑な住民サービスの提供に努め、効率的で効果的な運営を図るとともに、「事業計画」の進行管理と事業運営の検証を行う。	
ソフト事業			
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○第8期介護保険事業計画の進行管理			
		○第9期介護保険事業計画の検討・準備	○第9期介護保険事業計画の調査・策定
決算額	—	決算見込額	283 千円
		予算額	466 千円

9

社会保険

計画書 P 74

○平成 30 年度(2018 年度)から都道府県が財政運営の主体となり、財政基盤の安定化が図られましたが、引き続き、国や県と連携し、安定的な事業運営に努めます。また、保険料率の適切な算定に努めます。

○医療費の抑制対策として、特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をめざし、併せて医療費通知やジェネリック医薬品※差額通知の送付などの保険事業を実施し、将来的な医療費の削減・抑制に努めます。

○日本年金機構や年金事務所との連携により、円滑な年金制度の推進に努めます。

○神奈川県後期高齢者医療広域連合と協力し、後期高齢者医療制度の円滑化及びその充実に努めます。

【参考となる指標】 特定健康診査受診率

実 績	
令和 2 年度 22.5%	令和 3 年度 26.48%

令和 12 年度の目標
60.0%

【参考となる指標】 ご長寿健診受診率

実 績	
令和 2 年度 25.0%	平成 3 年度 29.3%

令和 12 年度の目標
35.0%

(1) 国民健康保険制度の適切な運営

②特定健康診査・特定保健指導の推進

事業 No. 97	事業名	特定健康診査等事業費・生活習慣病重症化予防事業（国民健康保険事業特別会計）
住民課 ソフト事業	事業概要	40 歳以上 74 歳以下の国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査及び特定保健指導を実施し、健康に対する意識を高め、将来的な健康寿命の延伸、医療費の抑制につなげる。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○特定健康診査の実施		→
○特定保健指導の実施		→
○生活習慣病重症化予防事業		→
決算見込額	26,140 千円	決算見込額 26,367 千円 予算額 39,179 千円

③被保険者への保健事業の推進

事業 No. 98	事業名	保健事業（国民健康保険事業特別会計）
住民課 ソフト事業	事業概要	医療費通知やジェネリック医薬品差額通知を行う。骨密度の測定やヘルシープラザ、パークゴルフ場の利用助成により保健予防や健康増進を目指す。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知		→
○骨密度測定、施設利用助成		→
○ヘルシープラザ・パークゴルフ場利用助成		→
決算額	864 千円	決算見込額 865 千円 予算額 1,340 千円

(3) 後期高齢者医療制度の適切な運営

②後期高齢者健康診査の実施

事業 No. 99	事業名	健康増進事業（後期高齢者健康診査）		
保健センター ソフト事業	事業概要	後期高齢者へ受診券の個別通知及び町内の医療機関で健康診査を実施し、生活習慣病及びその予備群を早期発見し、必要に応じて早期治療や予防につなげることで、高齢者の健康を維持・増進する。		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○健康診査を実施				→
決算額	23,826 千円	決算見込額	24,913 千円	予算額 29,914 千円

10 生活支援・ひとり親福祉

計画書 P 76

- 生活困窮者の現状やニーズを的確につかみ、必要となる制度や各関係機関との連携により、生活困窮者の救済に努めます。
- 町営住宅の今後のあり方を検討し、維持管理等の方針を決定します。
- 経済的、社会的、精神的に不安定な状況に置かれがちなひとり親世帯が、子育てにおいて孤立感や不安感を抱くことのないよう、精神面の安定と自立した生活を営めるよう支援を推進します。

(1) 自立支援と最低生活保障

③町営住宅の整備検討

事業 No. 100	事業名	町営住宅維持修繕事業		
社会福祉課 ソフト事業	事業概要	町営住宅の機能維持のための不良個所の修繕及び新たな入居者を迎える際に改修を実施する。		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○町営住宅の維持管理				→
		○孫込住宅給水設備改修工事		
決算額	1,414 千円	決算見込額	16,730 千円	予算額 1,000 千円

基本目標3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり

Ⅰ 計画的な土地利用による自然環境の保全

自然豊かな地域性を活かし、環境に配慮した総合的、計画的な土地利用を推進します。また、環境の保全・再生に対する教育・学習を充実させ、自然環境の保全と活用に取り組みます。

分野	主要施策	細施策
1 地球温暖化防止対策	(1) 計画的な取組みの推進	①地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策)の策定 ②地球温暖化対策地方公共団体実行計画(事務事業)の推進
	(2) 低炭素社会づくりの推進	①車社会の変化への対応 ②二酸化炭素吸収対策の推進
	(3) エネルギー	①省エネルギーの啓発 ②アイドリングストップの啓発・低公害車の導入の推進 ③新エネルギー活用の検討
2 自然保護	(1) 自然環境の保全と活用	①山間部の保全と活用 p. 41 ②海岸部の保全と活用 p. 41
	(2) 環境学習・環境教育の推進	①自然体験・自然学習機会の創出 ②環境に配慮した教育施設の整備 ③学校での環境学習の充実
3 土地利用	(1) 適切な土地利用の推進	①計画的な将来都市空間構造の実現 ②土地利用の規制・誘導 ③農業振興地域整備計画の見直し
	(2) 駅前・まち並みの整備	①駅前地域の整備 ②温泉場地区のまち並み整備 p. 42
4 景観	(1) 美しい景観の形成	①美しい都市景観の形成 ②自然環境と調和した景観の保全・創出
	(2) 花のまちづくりの推進	①花の郷づくり事業の推進
5 公園・緑地・水辺	(1) 公園の整備	①都市公園の整備 p. 42
	(2) 緑化の推進	①まちの緑化の推進
	(3) 水辺の整備	①千歳川・藤木川や新崎川の護岸整備 ②海岸線の整備

Ⅱ 持続可能な生活環境の構築

環境問題を町民一人ひとりが身近なこととして考え、ごみの減量化やリサイクル、排水の浄化に努め、次世代に豊かな自然環境をつないでいけるよう、持続可能な生活環境の構築に努めます。また、少子高齢化による自治会運営の対応についても、地域性を考慮した課題解決に努めます。

分野	主要施策	細施策
6 循環型社会の構築	(1) 3Rの推進	①リサイクル・リユースの促進 p. 43 ②リデュースの促進
	(2) ごみ処理体制の充実	①ごみ収集体制の充実 p. 43 ②事業系廃棄物の適正な処理の指導 ③資源ごみの選別処理施設の建設 ④焼却灰の資源化の検討 ⑤最終処分体制の検討 p. 43 ⑥広域化の検討 p. 44
7 し尿・浄化槽汚泥処理	(1) し尿・浄化槽汚泥処理体制の充実	①新たなし尿・浄化槽汚泥処理体制の確立 p. 44
8 環境衛生	(1) 生活環境の保全	①水質保全の推進 ②不法投棄や野焼きの防止 p. 44
	(2) 都市型公害防止対策の推進	①市街地での騒音・振動などの解消 ②大気環境への対応
9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	①上水道の整備 p. 45 ②簡易水道組合の統合 p. 45
		③水道事業体の広域化への対応 ④公営企業事業の一体化

9 上下水道	(2) 下水道事業の推進	①下水道の整備と接続促進 p. 45 ②下水処理施設の整備 p. 46 ③下水道経営の健全化 p. 46 ④下水道計画区域外における合併処理浄化槽への転換促進 p. 46
--------	--------------	--

Ⅲ 安全・安心の実現

災害等に迅速かつ適切に対応できるよう、公助としての防災、消防、救急体制の充実と、自助による防災意識及び共助による互助意識の向上に取り組みます。また、防犯対策や空き家対策、交通安全の啓発など日常生活における安心の実現に努めます。

分野	主要施策	細施策
10 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	①地域防災計画の適切な運用 p. 47 ②防災拠点の整備 p. 47 ③自主防災組織の強化と防災意識の醸成 p. 47 ④非常通信連絡網の整備 p. 47 ⑤避難場所・避難収容施設の周知 ⑥防災倉庫・資機材の整備、食糧などの備蓄、非常物資・応急給水の確保 p. 48 ⑦帰宅困難者対策の推進 ⑧土砂災害・洪水対策の強化及び改良事業の推進 . . . p. 48 ⑨津波対策の強化 p. 48 ⑩災害時要援護者の避難支援 ⑪火山対策の強化
	(2) 危機管理対策の推進	①国民保護法への対応
11 治山・治水	(1) 治山事業の推進	①治山事業の推進
	(2) 治水事業の推進	①治水事業の推進 ②河川・水路の整備
12 交通安全	(1) 交通安全対策の充実	①交通安全施設や歩道の整備 p. 49 ②交通安全意識の高揚 p. 49 ③交通安全運動の推進 p. 49
13 防犯	(1) 防犯体制の充実	①防犯意識の高揚 p. 50 ②防犯環境の整備 p. 50
14 消防救急	(1) 消防体制の整備	①常備消防体制（消防本部・消防署）の整備 . . . p. 51 ②救助活動の強化 ③非常備消防体制（消防団）の充実 p. 51 ④火災予防体制の強化と被害軽減対策 ⑤消防広域化への対応
	(2) 救急業務体制の整備	①救急自動車の更新 p. 52 ②救急救命士などの育成 p. 52 ③救急資器材の整備 p. 52 ④救急講習会の充実
	(3) 緊急輸送体制の確保	①緊急輸送体制の充実
15 消費生活	(1) 消費者意識の高揚	①自立する消費者の育成 p. 53 ②悪徳商法による被害の防止 p. 53
	(2) 消費生活相談の充実	①連携体制の充実 p. 53 ②消費生活相談の充実 p. 53

Ⅳ 交通ネットワークの整備

交通の骨格となる基幹道路や町民の日常生活に欠くことのできない道路の整備に取り組みます。
また、公共交通網の確保・維持に努めます。

分野	主要施策	細施策
16 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備	①地域公共交通網形成計画の推進 ②道路の新設・改良 p. 53 ③狭あい道路の整備 ④農道の町道移管 ⑤出作農地周辺の農道の市道移管 ⑥道路ストックの維持管理の推進 p. 54 ⑦地籍調査の推進 p. 54
	(2) 広域道路網の整備促進	①西湘バイパスの再延伸の要望 ②国道 135 号等の整備要望 ③広域農道の早期完成 p. 55 ④伊豆湘南道路の整備促進 p. 55
17 公共交通	(1) 公共交通網の充実	①鉄道交通の充実 ②バス交通の充実 p. 55 ③予約型乗合い交通の整備

-- I 計画的な土地利用による自然環境の保全 -----

1 地球温暖化防止対策

計画書 P 78

○本町は、まちづくりの推進者として、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」の実現をめざすため、地球温暖化防止対策など環境に関する情報の発信を積極的に行い、温室効果ガス※の排出の抑制などに資する都市整備の推進、社会資本の整備などの対策を推進するとともに、異常気象への適応策について調査・検討します。

【参考となる指標】町の施設における電気自動車等充電施設数

実 績		令和 12 年度の目標
令和 2 年度 3 箇所	令和 3 年度 3 箇所	
		4 箇所

2 自然保護

計画書 P 81

○自然保護に関連する法令や計画に基づき、本町の自然環境の保全と活用に努めます。また、「自然共生社会」の実現に向けて、自然とふれあう様々な活動や学習フィールドとして自然環境を活用できるよう環境整備を推進します。

(1) 自然環境の保全と活用

①山間部の保全と活用

事業 No. 20	事業名	湯河原自然郷整備事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-①県立奥湯河原自然公園の整備、3-I-5-(1)-①都市公園の整備】		

②海岸部の保全と活用

事業 No. 101	事業名	町内美化推進事業（かながわ海岸美化財団負担金）		
環境課	事業概要	かながわ海岸美化財団と協力し、海岸の定期的清掃を行い、海岸の美化保全に努める。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○海岸美化財団の海岸清掃等の費用を構成県市町で負担				
決算額	527 千円	決算見込額	531 千円	予算額 542 千円

3 土地利用

計画書 P 83

○土地利用に係る各種の法律や計画（湯河原町都市マスタープランなど）に基づいて、自然環境の保全に配慮した適切な土地利用を誘導するとともに、地域の特性を活かした土地利用の推進を図ります。また、人口減少と少子高齢化が進む中、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、コンパクトシティ・プラス・ネットワーク※の考えで、計画的な都市機能の誘導や居住誘導の必要性を検討します。

【参考となる指標】温泉場地区修景整備件数

実 績		令和 12 年度の目標
令和 2 年度 0 件	令和 3 年度 0 件	
		10 件

(2) 駅前・まち並みの整備

②温泉場地区のまち並み整備

事業 No. 102	事業名	万葉公園・周辺地区まちづくり事業
まちづくり課 ハード事業	事業概要	温泉場エリアの住民や事業者に対し、地域資源や景観づくりのポイント、空き家等の活用手法等を紹介・共有し、エリアの活性化に資する空き家等の再生・活用を促し、風情のある街なみづくりや住環境づくりを推進する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○民間による修景整備に対して補助金を交付し、景観形成を図る		2023（令和5）年度
決算額	0 千円	決算見込額 18,604 千円
		予算額 7,200 千円

4 景観

計画書 P 85

○本町が有する景観資源のまとまりを今後とも維持・継承し、さらにはその質を高めていくために、土地利用・地形などに基づき区分された地区ごとの景観特性に配慮しながら、個性的で特色ある都市景観の形成と、「景観の広がり」と個性ある拠点、繋げる軸」からなる骨格的な景観都市構造の形成をめざします。

【参考となる指標】景観計画区域内行為届出件数

実績	
令和2年度 64 件	令和3年度 76 件



令和12年度の目標
600 件

5 公園・緑地・水辺

計画書 P 87

○「湯河原町緑の基本計画」に基づき、市街地及び市街地周辺において、公園・緑地の適正な配置と計画的な整備を進めます。

【参考となる指標】補修等施設整備数

実績	
令和2年度 9 施設	令和3年度 1 施設



令和12年度の目標
50 施設

(1) 公園の整備

①都市公園の整備

事業 No. 19	事業名	湯河原自然郷整備事業
-----------	-----	------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-①県立奥湯河原自然公園の整備、3-I-2-(1)-①山間部の保全と活用】

事業 No. 103	事業名	公園長寿命化計画事業
まちづくり課 ハード事業	事業概要	調査により公園施設の健全度等を把握し、計画的に維持管理を行い、公園の安全・安心を図るもの。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		2023（令和5）年度
		○長寿命化工事 ・ 5 公園
		・ 2 公園
決算額	—	決算見込額 2,530 千円
		予算額 1,430 千円

Ⅱ 持続可能な生活環境の構築

6 循環型社会の構築

計画書 P 89

○「低炭素社会」、「循環型社会」の推進のため、ごみの発生抑制（リデュース）、資源の再使用（リユース）、資源の再生使用（リサイクル）の促進を引き続き図り、新たなごみ減量化への対策を検討します。

【参考となる指標】 資源回収実施団体奨励金の支給団体数

実 績		令和 12 年度の目標
令和 2 年度 12 団体	令和 3 年度 12 団体	16 団体

(1) 3 Rの推進

①リサイクル・リユースの促進

事業 No. 104	事業名	リサイクル推進事業（資源回収実施団体奨励金）		
環境課	事業概要	PTA、子ども会、老人会などの地域団体が行う資源物の回収に対し、1 kg 当たり 5 円、年間 1,200kg 以上集めた団体には追加で 1 万円の奨励金を支給することにより、ごみ減量・資源化の促進を図る。		
ソフト事業				
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度
○奨励金の支給（14 団体）		○奨励金の支給（14 団体）		○奨励金の支給（15 団体）
決算額	221 千円	決算見込額	220 千円	予算額 290 千円

(2) ごみ処理体制の充実

①ごみ収集体制の充実

事業 No. 105	事業名	ごみ収集対策事業（ごみ収集運搬委託）			
環境課	事業概要	収集職員の減少による収集範囲の縮小（退職者不補充）に伴い、ごみ収集運搬業務を民間委託し安定的、効率的収集体制の確立を目指す。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○全町で民間委託		→			
決算額	122,696 千円	決算見込額	125,972 千円	予算額	130,592 千円

⑤最終処分体制の検討

事業 No. 106	事業名	湯河原町真鶴町衛生組合負担金		
環境課	事業概要	長期的に安定した最終処分体制を構築するために、ごみ処理の広域化も踏まえ、効率的なごみ処理の実施により「低炭素社会」、「循環型社会」の実現を図る。		
ハード事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○ごみ処理広域化の検討				
○長寿命化計画策定		○基幹改良工事		
決算額	699,744 千円	決算見込額	799,997 千円	予算額 799,987 千円

⑥広域化の検討

事業 No. 107	事業名	ごみ処理広域化事業			
環境課	事業概要	小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の 1 市 3 町で平成 18 年度から協議会を設置し、ごみ処理の効率化、安定化、経費削減を目的にごみ処理広域化を検討している。			
ソフト事業					
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度	
○ごみ処理の広域化を検討				→	
決算額	—	決算見込額	25 千円	予算額	25 千円

7 し尿・浄化槽汚泥処理	計画書 P 92
○町民の公衆衛生環境を保持するため、熱海市、真鶴町及び湯河原町の1市2町による安定したし尿・浄化槽汚泥処理体制の維持に努めます。	

(1) し尿・浄化槽汚泥処理体制の充実

①新たなし尿・浄化槽汚泥処理体制の確立

事業 No. 108	事業名	し尿等処理事業		
環境課	事業概要	自区内に処理施設を持たないため、し尿等の収集、貯留、運搬、処理の全てを委託する。また、安定的かつ長期的な処理体制の確立を目指し、熱海市・真鶴町との共同により新たなし尿等処理を令和２年度から開始した。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○熱海市でのし尿処理 ・真鶴町との共同によりタンクローリー車１台を整備				
決算額	73,078 千円	決算見込額	63,371 千円	予算額 63,371 千円

8環境衛生

計画書 P 93

○生活環境に係る公害問題や、不法投棄などによる環境への影響などを解決するため、町のみならず、町民、事業者が積極的に環境衛生活動に取り組みます。

○一人ひとりが環境についての理解を深め、取組みを進めることができるよう環境保全活動を促進します。また、引き続き住環境への影響を周知しながら、モラルの向上を図り、問題の防止に努めます。

【参考となる指標】不法投棄物回収量

実績	
令和2年度 4,513 k g	令和3年度 3,939 k g

(1) 生活環境の保全

②不法投棄や野焼きの防止

事業 No. 109	事業名	不法投棄・散乱ごみ防止事業			
環境課	事業概要	町内に設置してある木製ごみ箱のごみや、主要道路沿い及び河川の散乱ごみの回収並びに町内美化パトロールによる不法投棄物の防止と撤去を行い、環境美化の保全に努める。			
ソフト事業					
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
○散乱ごみの回収・パトロールの実施					
○不法投棄物等の撤去					
決算額	6,205 千円	決算見込額	6,319 千円	予算額	6,333 千円

9 上下水道

計画書 P 95

○水道事業施設整備計画に基づき、経営状況を踏まえ費用対効果を勘案して事業採択を検討し、施設の整備を継続的に実施します。

【参考となる指標】有収水量率

実績

令和 2 年度 78.5%

令和 3 年度 78.0%

令和 12 年度の目標

82.0%

【参考となる指標】下水道の接続率

実績

令和 2 年度 92.31%

令和 3 年度 92.14%

令和 12 年度の目標

94.31%

(1) 上水道事業の推進

①上水道の整備

事業 No. 110	事業名	上水道施設整備事業		
水道課	事業概要	湯河原町水道ビジョンに掲げる基本理念「3 S（安全：Safe・強靱：Strong・持続性：Sustainable）実現で将来安心なゆがわら水道」に基づく各種施策を実施し、すべての水道利用者にとって低廉で持続可能な水道事業を実現する。		
ハード事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○送配水管更新事業				→
○城ヶ尾ポンプ場ポンプ制御盤改修工事		○桜山ポンプ場送水ポンプ更新工事		
○前栗場北部配水池受電設備改良工事		○前栗場配水池制御盤外改良工事		
決算額	53,427 千円	決算見込額	62,753 千円	予算額 82,600 千円

②簡易水道組合の統合

事業 No. 111	事業名	城堀簡易水道統合事業			
水道課	事業概要	水資源の有効活用、効率的な上水道の供給、統一的な町民サービス及び水道事業経営の健全化を図るため、町営水道と組合営簡易水道との統合を目指す。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度	2023（令和5）年度		
○城堀簡易水道組合と統合に向けた協議・調整		○固定資産データ移行等業務委託 ○水道料金データ移行業務委託 ○管網図システムデータ移行業務委託	○城堀地区遠方監視設備整備工事 ○城堀簡易水道資産購入		
決算額	6,726 千円	決算見込額	7,645 千円	予算額	57,603 千円

(2) 下水道事業の推進

①下水道の整備と接続促進

事業 No. 112	事業名	公共下水道管渠整備事業、下水道普及促進事業		
下水道課	事業概要	湯河原町公共下水道全体計画における未整備箇所の解消と市街地周辺の宅地化が進展する地域を中心に整備を推進するとともに、下水道への早期接続を促進する。		
ハード事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度	2023（令和５）年度	
○未整備箇所を整備				
○早期接続を促進				
決算額	12,510 千円	決算見込額	7,763 千円	予算額 15,200 千円

②下水処理施設の整備

事業 No. 113	事業名	浄水センター建設事業
下水道課	事業概要	ストックマネジメント計画をもとに、施設の再構築及び長寿命化工事を実施し、浄水センターの機能維持を図る。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○水処理設備等実施設計業務委託 ○流入渠水位計更新工事 ○総合地震対策計画策定業務委託	○水処理設備、計装設備更新工事 ○下水道BCP策定委託	○管理棟耐震診断委託
決算額 50,400 千円	決算見込額 8,195 千円	予算額 632,560 千円

③下水道経営の健全化

事業 No. 114	事業名	下水道経営健全化事業
下水道課	事業概要	将来の改築及び維持管理に係る費用を把握するとともに、負担区分の明確化や資産の把握、職員のより一層の経営意識の向上などにより事業の安定的な継続を実現するため、企業経営を構築する。また、下水道使用料の見直しを行い、経営基盤の安定を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
		○下水道使用料改定を検討
決算額 -	決算見込額 -	予算額 -

④下水道計画区域外における合併処理浄化槽への転換促進

事業 No. 115	事業名	浄化槽設置整備事業費（補助金）
環境課	事業概要	下水道全体計画区域外の汲み取り槽または単独処理浄化槽を、家庭雑排水も処理できる合併浄化槽へ転換する費用を助成し、公共水域の保全を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○合併浄化槽の転換費用を助成		
決算額 0 千円	決算見込額 0 千円	予算額 752 千円

Ⅲ 安全・安心の実現

10 防災・危機管理

計画書P98

○町の災害対策の現状に合った防災計画を、中長期的な視点で作成及び更新していきます。災害関係機関との連携を密にするとともに、防災対策にかかる協定の締結を進め、また、自主防災組織の組織力強化のため、各災害に応じた訓練を支援します。

【参考となる指標】備蓄食料の購入量

実績	
令和2年度 11,000 食	令和3年度 12,250 食



令和12年度の目標
55,350 食

【参考となる指標】湯河原防災マップの作製・配布数

実績	
令和2年度 12,300 部	令和3年度 935 部



令和12年度の目標
13,000 部

(1) 防災対策の推進

事業 No. 116	事業名	危険木伐採等助成事業
地域政策課	事業概要	町民の生命、身体、財産、道路交通の安全確保に被害が生じるおそれのある立木が倒れることを未然に防ぐことを目的に、伐採した際に費用の一部を助成する。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
	○危険木伐採等の費用を助成	
決算額 -	決算見込額 4,004 千円	予算額 4,016 千円

①地域防災計画の適切な運用

事業 No. 117	事業名	地域防災計画改定事業
地域政策課	事業概要	南海トラフ地震、首都直下型地震に係る震災被害想定、風水害及び富士山・箱根火山噴火対策強化のため、湯河原町地域防災計画の改定を行う。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
	○関連法の改定に基づく修正 ○「南海トラフ地震防災対策推進計画」の追加	
決算額	—	決算見込額 — 予算額 —

②防災拠点の整備

事業 No. 118	事業名	防災コミュニティセンター運営経費
地域政策課	事業概要	平常時は、住民のコミュニティ活動の場となるスペース及び防災拠点機能を備え、災害時には住民の安全・安心な暮らしを確保するための、災害活動の拠点及び避難施設としての機能を備えた施設の運営・管理を行う。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○コミュニティ活動の場としての使用		
○施設の維持管理		
決算額	8,441 千円	決算見込額 11,606 千円 予算額 11,011 千円

③自主防災組織の強化と防災意識の醸成

事業 No. 119	事業名	総合防災訓練実施事業
地域政策課	事業概要	災害に対する基本的な考え方である「自分（たち）の身は自分（たち）で守る」という観点から自助・共助の大切さを再認識し、災害に備えるため、自主防災組織を主体に各種災害種別ごとの防災訓練を実施する。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○総合防災訓練実施（中止） 防災関連物品の配布 ○富士山火山防災訓練（中止）	○総合防災訓練実施 ○土砂災害防災訓練・津波対策訓練実施 ○富士山火山防災訓練実施	
決算額	600 千円	決算見込額 590 千円 予算額 798 千円

④非常通信連絡網の整備

事業 No. 120	事業名	防災行政無線（固定系）管理経費
地域政策課	事業概要	デジタル方式の機器へ更新した親局無線機及び屋外子局 73 機の定期的な保守点検等を実施するとともに、難聴地域等の解消に努め、非常通信連絡網の強化を図る。
ハード事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○保守点検及び維持管理 ○長寿命化の検討		○設備の更新
決算額	5,417 千円	決算見込額 6,053 千円 予算額 5,169 千円

事業 No. 121	事業名	F M放送緊急割込放送システム管理事業
地域政策課	事業概要	熱海市と共同で、F M放送緊急割込放送システムを運営し、防災行政無線が聞こえにくい町民に対し、情報伝達を行う。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○全国瞬時警報システムの保守点検		2023（令和5）年度
決算額	821 千円	決算見込額 821 千円 予算額 898 千円

⑥防災倉庫・資機材の整備、食糧などの備蓄、非常物資・応急給水の確保

事業 No. 122	事業名	防災備蓄品購入等事業
地域政策課	事業概要	湯河原町防災食糧備蓄計画に沿った食糧及び生活必要物資等を購入する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○備蓄食糧を購入		2023（令和5）年度
○避難生活用品等を購入		
決算額	5,968 千円	決算見込額 4,971 千円 予算額 5,904 千円

⑧土砂災害・洪水対策の強化及び改良事業の推進

事業 No. 123	事業名	急傾斜地崩壊対策事業
土木課	事業概要	土砂災害から生命を守るため、平成15年度から県（小田原土木センター）が施工する急傾斜地崩壊対策工事が宮上地区で行われ、それに係る調査費や工事費の一部を負担する。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○宮上道中地区の工事費を負担		2023（令和5）年度
○伐木 62本・枠内処理工		○伐木 38本・枠内処理工
		○福浦地区の事業費を負担
		○地形測量
		○伐木 18本・枠内処理工
		○地質調査
決算額	10,000 千円	決算見込額 8,600 千円 予算額 6,400 千円

⑨津波対策の強化

事業 No. 124	事業名	防災マップ作製事業
地域政策課	事業概要	災害時の情報伝達方法を明記したパンフレットを作製する。また、災害種別ごとの指定緊急避難場所を明記した防災マップ及び津波ハザードマップを作製する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		2023（令和5）年度
		○高潮浸水ハザードマップ作製
		○令和5年度版ゆがわら防災マップ全戸配布
決算額	—	決算見込額 891 千円 予算額 —

11 治山・治水

計画書 P101

○国、県、町、森林所有者及び受益者が協働により、治山、治水事業を積極的に推進し、森林の整備及び保全を図り、町民の安全・安心を確保していきます。

12 交通安全		計画書 P 102
○交通安全対策を推進し、町民を交通事故から守り、また、安全・安心で快適な生活が実現できるよう交通安全意識の高揚と交通安全施設の充実を図ります。		
【参考となる指標】町内の交通事故件数（人身）		
実 績		令和 12 年度の目標
令和 2 年 67 件	令和 2 年 57 件	事故ゼロ

(1) 交通安全対策の充実

①交通安全施設や歩道の整備

事業 No. 125	事業名	交通安全施設整備事業
まちづくり課 ハード事業	事業概要	交通安全対策としてカーブミラーの設置、道路標識（ライン・カラー舗装）の設置等を行い、交通安全の確保を図る。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○設置工事等		2023（令和 5）年度
決算額	3,857 千円	決算見込額 4,000 千円 予算額 4,000 千円

②交通安全意識の高揚

事業 No. 126	事業名	ドライブレコーダー設置補助事業
まちづくり課 ソフト事業	事業概要	町内に住所を有する個人または法人にドライブレコーダー設置費用の一部を助成する。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○ドライブレコーダー設置費を助成		2023（令和 5）年度
決算額	1,901 千円	決算見込額 2,527 千円 予算額 —

③交通安全運動の推進

事業 No. 127	事業名	交通安全対策推進事業
まちづくり課 ソフト事業	事業概要	交通安全運動を推進し、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○交通安全運動の推進		2023（令和 5）年度
決算額	1,890 千円	決算見込額 3,303 千円 予算額 3,303 千円

13 防犯		計画書 P 103
○近年新たな特殊犯罪が増加していることを踏まえ、警察、防犯組織及び町が連携し、昨今の犯罪傾向及び現状を把握した上で、住民に対し注意喚起を促すことで、防犯意識及び防犯力の向上に努めます。		
○防犯灯の整備が進んでいるため、安定した管理ができるよう、計画を作成します。		
【参考となる指標】防犯カメラ設置助成件数		
実 績		令和 12 年度の目標
令和 2 年度 13 件	令和 3 年度 11 件	10 件

(1) 防犯体制の充実

①防犯意識の高揚

事業 No. 128	事業名	防犯対策推進事業
地域政策課	事業概要	小田原地方防犯協会湯河原支部へ助成を行うとともに、小田原地方防犯協会湯河原支部及び防犯指導員湯河原町連絡会の活動を支援し、防犯活動体制の強化を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		2023（令和5）年度
決算額	661 千円	決算見込額 662 千円 予算額 672 千円

事業 No. 129	事業名	犯罪被害者等支援事業
地域政策課	事業概要	犯罪の被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の犯罪そのものによる直接的被害だけではなく、経済的困窮や、周囲の人の配慮のない対応などの二次被害など様々な問題に対応し、一日も早く平穏な生活に戻ることができるよう、被害者等に寄り添った支援を行うもの。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		2023（令和5）年度
		○支援金の支給 ○法律相談の実施 ○広報・啓発活動
決算額	—	決算見込額 — 予算額 883 千円

②防犯環境の整備

事業 No. 130	事業名	防犯灯維持管理事業
地域政策課	事業概要	町内に設置されている防犯灯の維持管理を行うとともに、設置要望箇所への増設を計画し、犯罪の未然防止を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○維持管理		2023（令和5）年度
○各区の新規要望に対応		
決算額	18,331 千円	決算見込額 21,213 千円 予算額 19,216 千円

事業 No. 131	事業名	住民生活安心サポート事業
地域政策課	事業概要	小学校の新入学生へ防犯ブザーを配布する。また、町内事業所や個人宅へ防犯カメラを設置する際の助成を行い、安全・安心なまちづくりの推進を図る。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○防犯ブザーを配布		2023（令和5）年度
○防犯カメラ設置費を助成		
決算額	404 千円	決算見込額 317 千円 予算額 485 千円

14 消防救急

計画書 P104

- 消防は、組織及び施設の整備拡充を推進するとともに、消防・防災活動に万全を期することを主眼とし、火災・風水害に対し災害警戒体制及び救急・救助体制の充実強化を図り、災害予防、職員教育訓練並びに関係機関との連携強化を図ります。
- 消防力の整備指針に基づき、消防の施設・設備の充実を図るとともに、本町の危機管理体制の再構築及び消防力の向上を図ります。

【参考となる指標】消防団員数

実績		令和12年度の目標
令和2年度 192 人	令和3年度 199 人	
		220 人

(1) 消防体制の整備

①常備消防体制（消防本部・消防署）の整備

事業 No. 132	事業名	消防ポンプ自動車等（常備）整備事業
消防本部	事業概要	現在、常備消防に配備されている消防車両等は、消防ポンプ自動車 5 台、搬送車 1 台、はしご付消防自動車 1 台、機動二輪車（赤バイ） 3 台、指令車 1 台、指揮車 2 台、消火通報訓練指導車 1 台の合計 14 台となっている。それらについて、経年又は劣化状況等を更新の目安として、計画的な整備を行う。
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
		○搬送車 1 台を更新
		○指揮車 1 台を更新
決算額	-	決算見込額 20,131 千円 予算額 47,179 千円

事業 No. 133	事業名	消防救急デジタル無線運営経費
消防本部	事業概要	神奈川県及び県下消防本部で構成される「神奈川県消防救急デジタル無線運営協議会」が主体となった事業で、デジタル方式に移行した消防救急無線を運用するため、保守点検や定期部品交換を行い、維持管理するもの。
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○保守点検及び維持管理		
決算額	6,103 千円	決算見込額 6,807 千円 予算額 4,941 千円

事業 No. 134	事業名	救助活動用資機材等整備事業
消防本部	事業概要	破損や経年劣化が見られる救助活動用資機材を優先し、計画的に更新する。主な救助活動用資機材：交通救助用資機材・潜水用資機材・山岳用資機材等
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
		○救急活動用資機材等の整備
決算額	-	決算見込額 1,012 千円 予算額 399 千円

事業 No. 135	事業名	高機能消防指令センター運営経費
消防本部	事業概要	住民からの各種通報に対する的確な指令を行い、安定した住民サービスを継続的に提供する。
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○高機能指令センター運営経費		
決算額	14,878 千円	決算見込額 11,947 千円 予算額 16,111 千円

事業 No. 136	事業名	高機能消防指令センター整備事業
消防本部	事業概要	高機能消防指令センターを運用しながら、中枢である消防指令システム及び活動波無線設備を更新整備する。
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○高機能指令センター更新整備		
決算額	149,468 千円	決算見込額 - 予算額 -

③非常備消防体制（消防団）の充実

事業 No. 137	事業名	消防ポンプ自動車等（非常備）整備事業
消防本部	事業概要	非常備消防（消防団）に配備する消防車両は、各分団に 1 台ずつ配備する消防ポンプ自動車 9 台、消防団指令車 1 台、国から貸与を受けている消防ポンプ車の合計 11 台。経年又は劣化状況等を更新の目安として、車両の計画的な整備を行う。
ハード事業		
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○第 9 分団（福浦地区）の消防ポンプ自動車 1 台を更新		
決算額	21,335 千円	決算見込額 - 予算額 -

事業 No. 138	事業名	消防団活動用資機材等整備事業
消防本部	事業概要	消防団の資機材について、要望によるメニュー方式でそれぞれの地域の実態に即した整備を行う。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○消防用資機材等の整備		2023（令和5）年度
決算額	852 千円	決算見込額 879 千円 予算額 900 千円

(2) 救急業務体制の整備

①救急自動車の更新

事業 No. 139	事業名	災害対応特殊救急自動車整備事業
消防本部	事業概要	現在、配備されている救急自動車（救急1～3号車、予備車の合計4台）について、経年又は劣化状況の目安となる基準を、12年又は走行距離20万kmと設定し、計画的な更新整備を行う。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		2023（令和5）年度
		○高規格救急自動車1台更新 ○救命資器材更新
決算額	—	決算見込額 34,605 千円 予算額 —

事業 No. 140	事業名	マタニティ・サポート119運営経費
消防本部	事業概要	妊婦の方が安心して出産、子育てができる環境を整備するため導入した出産時に利用出来る専用車両の運用・維持管理。併せて計画的な整備により、財政負担を抑制しつつ、出産時の搬送サービスを継続する。
ハード事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○燃料、医薬材料等購入、車両整備		2023（令和5）年度
		○周産期
決算額	182 千円	決算見込額 404 千円 予算額 225 千円

②救急救命士などの育成

事業 No. 141	事業名	救急救命士運営経費
消防本部	事業概要	高規格救急自動車に救急救命士が搭乗することで救急現場における救急処置の高度化を図り、計画的な救急救命士の育成や湘南地区メディカルコントロール協議会での活動事後検証や研修等を実施し、救急救命能力の維持・向上を確保する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○就業前・就業後研修など		2023（令和5）年度
○指示要請・活動事後検証等を実施		○指導救命士育成
決算額	1,936 千円	決算見込額 2,830 千円 予算額 3,647 千円

③救急資器材の整備

事業 No. 142	事業名	救急活動感染症対策用資器材整備事業
消防本部	事業概要	新型コロナウイルス感染症患者等を搬送する際に、同乗する家族や救急隊員への感染を防止し救急活動体制を維持する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○救急活動感染症対策用資器材整備		2023（令和5）年度
決算額	3,214 千円	決算見込額 — 予算額 —

15 消費生活	計画書 P 107
○消費者被害の未然防止及び消費生活相談窓口の周知、啓発活動に努めるとともに、小田原市消費生活センターとの連携及び相談体制の充実を図ります。	

(1) 消費者意識の高揚

①自立する消費者の育成

事業 No. 143	事業名	消費生活対策事務経費
住民課 ソフト事業	事業概要	小田原市消費生活センターの運営費の負担及び同センター等と連携し、情報の収集と提供を行うとともに、各種イベント等での啓発活動等を実施し、被害防止と早期解決を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○各種啓発活動を実施		→
○小田原市消費生活センター運営費を負担		→
決算額	1,012 千円	決算見込額 940 千円 予算額 1,080 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標3-III-15-(1)-②悪徳商法による被害の防止、3-III-15-(2)-①連携体制の充実、3-III-15-(2)-②消費生活相談の充実】

②悪徳商法による被害の防止

事業 No. 143	事業名	消費生活対策事務経費
------------	-----	------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標3-III-15-(1)-①自立する消費者の育成】

(2) 消費生活相談の充実

①連携体制の充実

事業 No. 143	事業名	消費生活対策事務経費
------------	-----	------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標3-III-15-(1)-①自立する消費者の育成】

②消費生活相談の充実

事業 No. 140	事業名	消費生活対策事務経費
------------	-----	------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標3-III-15-(1)-①自立する消費者の育成】

--- IV 交通ネットワークの整備 ---

16 道路整備	計画書 P 108
○道路網によって構成される交通ネットワークの利便性を高めるとともに、身近な生活空間において円滑で安全な移動を確保する道路整備をめざします。	
○道路の整備、新設、延伸の実現に向けて、地域住民などと連携し、早期実現をめざします。	
○農道の利用実態を把握しながら町道への移管を検討します。	

(1) 道路・交通体系の整備

②道路の新設・改良

事業 No. 144	事業名	道路新設改良事業（幹線道路の舗装、改良）
土木課 ハード事業	事業概要	町内の道路が経年劣化や交通量の増加により、全体的に舗装が傷んでいるため、道路の舗装改修を実施し、地域住民などの利便性の向上を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○学校通り線、川堀鍛冶屋線の舗装改良工事		→
○川堀鍛冶屋線、オレンジライン、サンサン通り線の舗装改良工事		→
決算額	26,279 千円	決算見込額 23,938 千円 予算額 40,600 千円

⑥ 道路ストックの維持管理の推進

事業 No. 145	事業名	橋梁長寿命化改修事業（橋りょう修繕事業）			
土木課	事業概要	今後、老朽化する道路橋の増大に対応するため、平成 24 年度に橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、点検に基づいた橋梁の予防的な修繕及び計画的な架替えを実施する。			
ハード事業					
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度	
○無名橋 4・5 改良工事 ○泉屋橋・清風橋改良工事 ○藤木橋設計委託		○藤木橋改良工事 ○山下橋改良工事 ○橋梁点検			
決算額	15,389 千円	決算見込額	63,866 千円		予算額

事業 No. 146	事業名	大平・若草山隧道トンネル改修事業		
土木課	事業概要	今後老朽化するトンネルに対応するため、トンネルの修繕計画を策定し、計画的な点検及び予防的な修繕を実施する。次回は令和 6 年度に点検を実施する。		
ハード事業				
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度
決算額	—	決算見込額	—	予算額 —

事業 No. 147	事業名	道路照明点検事業		
土木課	事業概要	今後老朽化する道路照明の点検および修繕を計画的に実施することで、維持管理費用の縮減と長寿命化を図り、また、日常時および災害時の安全・安心な道路環境を確保する。		
ハード事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○道路照明点検調査業務委託 （52 基）		○道路照明修繕計画策定		
決算額	5,000 千円	決算見込額	3,300 千円	予算額 ー

事業 No. 148	事業名	道路法面点検事業	
土木課	事業概要	今後老朽化する道路法面の点検および修繕を計画的に実施することで、維持管理費用の縮減と長寿命化を図り、また、日常時および災害時の安全・安心な道路環境を確保する。	
ハード事業			
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度	2023（令和５）年度
○維持管理計画策定			○補修工事
決算額	2,079 千円	決算見込額	－
		予算額	8,000 千円

⑦ 地籍調査の推進

事業 No. 149	事業名	地籍調査事業
土木課	事業概要	国土調査法に基づき町が主体となって、地籍に関する調査を実施することにより、境界紛争の未然防止や公共事業の計画策定、地震など自然災害時におけるライフラインの確保の円滑化を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○鍛冶屋地区の一部（0.06 ㎩）（R2 繰越）、宮上・土肥地区の一部（0.06 ㎩）（R2 繰越）で一筆地調査を実施		○宮上・土肥地区の一部（0.06 ㎩）、DID 地区の一部（0.10k ㎡）で一筆地調査を実施
2023（令和5）年度		
○DID 地区の一部（0.20k ㎡）、（2022（R4）年度実施工程 0.10k ㎡を含む）で一筆地調査を実施		
決算額	9,041 千円	決算見込額 10,775 千円
		予算額 11,244 千円

(2) 広域道路網の整備促進

③広域農道の早期完成

事業 No. 37	事業名	県営土地改良広域農道（小田原湯河原地区）整備事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-Ⅱ-5-(1)-②広域農道の整備】		

④伊豆湘南道路の整備促進

事業 No. 150	事業名	土木総務事務経費（伊豆湘南道路建設促進期成同盟会負担金）		
土木課	事業概要	静岡県東部地域と神奈川県西部地域を結ぶ規格の高い道路建設の早期実現を期し、両県相互の振興発展を図ることを目的とし、西湘バイパスの延伸による「伊豆湘南道路」の早期実現に向け、伊豆湘南道路建設促進期成同盟会において要望活動を実施する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○要望活動を実施				
決算額	60 千円	決算見込額	96 千円	予算額 96 千円

17 公共交通

計画書 P111

○鉄道交通の増便やバスやタクシーの乗務員不足など、町単独で要望しても実現が難しいことから、近隣市町と連携し、国や県に要望していきます。また、コミュニティバスや予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の運行については、利用者の利便性の向上を図るための対策を講じるとともに、町内の交通不便地域対策についても検討します。

【参考となる指標】コミュニティバス乗車人員

実績	
令和2年度 64,318 人	令和3年度 66,163 人



令和12年度の目標
80,000 人

【参考となる指標】ゆたぼん号利用者数

実績	
令和2年度 2,998 人	令和3年度 3,465 人



令和12年度の目標
3,500 人

(1) 公共交通網の充実

②バス交通の充実

事業 No. 151	事業名	交通不便地域対策事業		
地域政策課	事業概要	交通事業者などで構成する「地域公共交通会議」において、地域公共交通に係る総合的な計画を推進し、交通不便地域の対策として、コミュニティバス及び予約型乗合い交通「ゆたぼん号」を運行する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○地域公共交通会議の開催				→
○コミュニティバスの運行				→
○「ゆたぼん号」の運行				→
○計画・目標値の見直し				
決算額	6,411 千円	決算見込額	5,305 千円	予算額 5,228 千円

基本目標 4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり

Ⅰ 生涯にわたる学びの推進

教育環境の変化に対応した幼児・学校教育の充実と生涯を通じて学習、スポーツ活動ができるよう、情報の提供や環境の整備に取り組みます。

分野	主要施策	細施策
1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	①学習機会の充実 p. 58 ②相談体制の充実 ③町民ニーズの把握
2 幼児教育	(1) 幼児教育の充実	①教育内容の充実 p. 59 ②教育基盤の充実 ③私立幼稚園との連携 ④私立幼稚園への助成
3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進 p. 59 ②小学校教育の充実 p. 60 ③中学校教育の充実 p. 60 ④特別支援教育の充実(再掲) p. 60 ⑤人権教育の推進 ⑥いじめの防止等と対策 ⑦不登校などの問題解決 p. 60 ⑧要保護・準要保護児童生徒の援助 p. 61 ⑨教育研究・教職員研修の充実 ⑩教育施設・設備・整備の推進 p. 61 ⑪教育行政における諸問題の検討
	(2) 高校進学育英奨学制度の充実	①育英奨学制度の充実 p. 62
4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	①町民大学の拡充 p. 62 ②自主的な文化活動の活性化 ③身近な町有公共施設の設備充実 ④学校教育との連携強化 ⑤社会教育団体と指導者の育成
	(2) 生涯学習内容の充実	①多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成 p. 62 ②国際化・情報化時代に即した社会教育の実施 ③生涯学習としての食育の推進
	(3) 図書館施設・運営の充実	①図書館施設整備の推進 p. 63 ②図書館資料の充実 p. 63 ③新図書館システムの活用 ④子どもたちに対するサービスの推進 p. 63
5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充実	①スポーツ施設の利用促進・運営充実 p. 64
	(2) スポーツ活動の支援	①スポーツ活動の支援 p. 64 ②スポーツ・レクリエーションの場づくり p. 65 ③スポーツ教室、イベントの開催 p. 65
6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	①青少年健全育成関係団体の支援 p. 66 ②青少年育成体験活動の推進 p. 66 ③青少年相談の充実 p. 66 ④学童保育・放課後子ども教室の充実 p. 66
	(2) 地域指導者の育成・支援	①青少年指導者の育成・支援 ②次世代地域指導者の育成 p. 67

Ⅱ 文化芸術の振興・保存

先人が築き伝え残してきた地域文化や文化財、伝統行事などの保護・保存に努めます。また、多彩な感性を磨く町民の主体的な文化活動を促進し、魅力ある湯河原文化を育みます。

分野	主要施策	細施策
7 文化芸術	(1) 伝統行事の振興	①伝統行事・祭事の伝承と活用 p. 67
	(2) 町民文化芸術活動の支援	①教養文化の土壌醸成 p. 67 ②美術館の充実・活用 p. 67
8 文化財・史料	(1) 文化財・史料の保護と活用	①郷土資料展示室の充実 ②町内にある文化財の調査研究 ③国・県・町指定文化財の保全、保護と巡回調査の実施

Ⅲ 多文化共生社会の推進

国籍などの違いを超えて、多様性を理解し、様々な文化と共生できるまちづくりをめざします。また、世界に目を向けた人材が育つよう、国際交流を推進するほか、国内外の親善都市等との交流について推進します。

分野	主要施策	細施策
9 国際理解	(1) 国際理解の推進	①多文化共生意識の高揚 p. 69 ②国際理解講座の開催 p. 69
	(2) 外国籍住民の支援	①外国籍住民の生活支援 ②外国語での情報提供
10 国際交流	(1) 国際交流活動の展開	①姉妹都市などとの交流拡大 p. 69 ②国際文化交流の推進 p. 70
11 地域間交流	(1) 地域間交流の推進	①親善都市及び姉妹都市との交流の推進

Ⅰ 生涯にわたる学びの推進

1

家庭教育

計画書 P112

○家庭教育は、すべての教育の出発点であるとともに、乳幼児期の親子の絆の形成にはじまる家族とのふれあいを通じて、基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担うものです。家庭教育は、保護者の責任であると同時に、保護者の権利や喜びであるということを見い出せるよう、家庭教育力の向上を図ります。

【参考となる指標】 家庭教育学級の開催

実 績	
令和 2 年度 0 回	令和 3 年度 3 回

令和 12 年度の目標
3 回

(1) 家庭の教育力の向上

①学習機会の充実

事業 No. 152	事業名	家庭教育推進事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子どもたちの子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高めるために、保育園、幼稚園、小中学校の保護者を対象に、家庭教育支援として講演会等を年4回開催する。また、これに合わせて、子育て中の方が受講する際に、子どもを預けて安心して参加できるように受講中の保育を保育グループ「エプロンママ」に委託する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○講演会等を開催		→
○保育グループへ活動を委託		→
○保育者育成のための講座開催		→
決算額	60 千円	決算見込額 60 千円 予算額 256 千円

事業 No. 153	事業名	子ども読書活動推進事業
図書館 ソフト事業	事業概要	湯河原町子ども読書活動推進協議会、ボランティア、学校、行政等が連携協力して子ども読書活動を推進する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○読書推進活動を実施		→
○第四次子ども読書活動推進計画策定		○第四次子ども読書活動推進計画推進
決算額	6 千円	決算見込額 347 千円 予算額 340 千円

2 幼児教育

計画書 P114

○幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であるため、幼稚園・保育所・小学校の連携を強め、特色を生かした教育を進めます。また、子ども・子育て支援新制度における国の基準等を踏まえて、公立及び私立幼稚園の均衡が図られた運営を進めていきます。

【参考となる指標】 町立福浦幼稚園児童数

実 績	
令和 2 年度 13 人	令和 3 年度 9 人



令和 12 年度の目標
15 人

【参考となる指標】 預かり保育利用児童数（延べ）

実 績	
令和 2 年度 634 人	令和 3 年度 294 人



令和 12 年度の目標
650 人

(1) 幼児教育の充実

①教育内容の充実

事業 No. 154	事業名	小中学校等外国語活動推進事業（幼保・小学校・中学校）
学校教育課	事業概要	幼・保育園及び小学校低学年については、言語に関する能力の基盤を養い、小・中学校の外国語活動においては、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するもの。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○外国語指導員等の配置		2023（令和5）年度
決算見込額	10,895 千円	決算見込額 11,794 千円 予算額 12,215 千円

3 学校教育

計画書 P116

○「教育基本方針」に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を持った児童・生徒の「生きる力」の育成を図ります。また、地域から信頼と協力を得られ、子どもたちが安心して楽しく学校生活が過ごせる安全・安心な学校づくりを推進し、学校支援ボランティアの活用、食育の推進、人権教育及び道德教育等の充実を図ります。

【参考となる指標】ALT（外国語指導助手）の派遣日数

実績	
令和2年度 小学校 150 日、中学校 190 日	令和3年度 小学校 150 日、中学校 190 日



令和12年度の目標

小学校 150 日、中学校 190 日

【参考となる指標】ICT 教育支援等の派遣日数

実績	
令和2年度 8 回	令和3年度 44 回



令和12年度の目標

88 回

【参考となる指標】湯河原町育英奨学金の認定者数

実績	
令和2年度 20 人	令和3年度 25 人



令和12年度の目標

20 人

(1) 小・中学校教育の充実

①特色のある教育の推進

事業 No. 155	事業名	学校支援ボランティア活用事業
学校教育課	事業概要	授業のサポートや環境整備のサポートなどを保護者や地域の方の協力を得ながら、地域ぐるみで児童・生徒を育てる教育環境を推進する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○ボランティアを活用し学習等を支援		2023（令和5）年度
決算額	437 千円	決算見込額 454 千円 予算額 434 千円

事業 No. 156	事業名	総合的学習等推進事業（総合的学習推進事業）
学校教育課	事業概要	地域を知る活動の実施に向け、各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○総合的学習を実施		2023（令和5）年度
決算額	992 千円	決算見込額 992 千円 予算額 912 千円

事業 No. 154	事業名	小中学校等外国語活動推進事業（幼保・小学校・中学校）
------------	-----	----------------------------

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4- I-2-(1)-①教育内容の充実】

②小学校教育の充実

事業 No. 157	事業名	副読本「ゆがわら」作成事業
学校教育課	事業概要	小学校4年生を対象に郷土の歴史や文化、産業等を学習するための教材として作成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
		○改訂版を作成
決算額	—	決算見込額 — 予算額 773 千円

事業 No. 158	事業名	図書等整備事業（図書整備・教育振興教材備品）
学校教育課	事業概要	学習指導における教材備品の充実、多様化する学習内容の教材として必要不可欠であり、授業の資質向上と授業を効果的に進めるために整備を行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○教材備品を整備		
決算額	2,419 千円	決算見込額 2,470 千円 予算額 2,470 千円

③中学校教育の充実

事業 No. 159	事業名	副読本「ゆがわら」作成事業
学校教育課	事業概要	中学校1年生を対象に郷土の歴史や文化、産業等を学習するための教材を作成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○増刷		
決算額	224 千円	決算見込額 — 予算額 —

事業 No. 160	事業名	図書等整備事業（教育振興教材備品購入事業・図書整備事業）
学校教育課	事業概要	学習指導における教材備品の充実、多様化する学習内容の教材として必要不可欠であり、授業の資質向上と授業を効果的に進めるために整備を行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○教材備品を整備		
決算額	4,604 千円	決算見込額 1,649 千円 予算額 1,649 千円

④特別支援教育の充実（再掲）

事業 No. 71	事業名	障がい児介助員設置事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標2-II-6-(1)-③特別支援教育の充実】		

⑦不登校などの問題解決

事業 No. 161	事業名	小中学校児童生徒支援事業
学校教育課	事業概要	支援教育アドバイザー（臨床心理士）を雇用し小学校を中心に巡回相談を行うとともに、SSW（スクールソーシャルワーカー）を配置し家庭環境の把握や関係機関との連携を密にし、きめ細かな対応に努める。また、児童・生徒の状況を把握し改善の取り組みに役立てるためのアンケートを年2回実施する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○臨床心理士による巡回相談を実施		
○SSWを配置し家庭環境を把握		
○アンケート（Q-U）を実施		
決算額	1,848 千円	決算見込額 2,927 千円 予算額 2,932 千円

事業 No. 162	事業名	教育支援教室推進事業（適応指導教育推進事業）		
学校教育課	事業概要	湯河原町教育支援教室運営協議会に運営委託し、担当教諭と会計年度任用職員（非常勤職員）で個別指導、家庭訪問を実施する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○個別指導及び家庭訪問を実施				➡
決算額	558 千円	決算見込額	670 千円	予算額 691 千円

⑧要保護・準要保護児童生徒の援助

事業 No. 163	事業名	要保護・準要保護児童生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費補助金		
学校教育課	事業概要	生活保護世帯（要保護）及び生活保護世帯に準じる世帯（準要保護）の児童生徒並びに特別支援級の児童生徒に対し、学用品等の一部を援助し家庭負担の軽減を図る。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○援助費及び奨励費を助成				
決算額	7,481 千円	決算見込額	12,102 千円	予算額 11,873 千円

⑩教育施設・設備・整備の推進

事業 No. 164	事業名	小中学校校務支援システム事業			
学校教育課	事業概要	小学校及び中学校における成績管理や出欠席管理など教員が行う公務について、情報の漏えい防止や校務の負担軽減を図る。			
ソフト事業					
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
○各小中学校においてシステム運用				→	
決算額	11,286 千円	決算見込額	10,854 千円	予算額	10,051 千円

事業 No. 165	事業名	ICT 教育推進事業			
学校教育課	事業概要	国の第3期教育振興基本計画に基づく教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画や GIGA スクール構想の実施に伴い、情報教育を推進する。			
ソフト事業					
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○教育用端末の維持、管理及び環境の整備				→	
決算額	59,617 千円	決算見込額	61,894 千円	予算額	56,175 千円

事業 No. 166	事業名	中学校給食施設等整備事業		
学校教育課	事業概要	中学校における完全給食率の上昇や完全給食実施を求める多くの町民などからの要望を受け、食育の推進、保護者の負担を軽減することにより子育て支援の一助とすることを目的に完全給食を実施することを図るもの。		
ハード事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○基本設計及び実施設計業務				
決算額	2,640 千円	決算見込額	－	予算額 ー

(2) 高校進学育英奨学制度の充実

①育英奨学制度の充実

事業 No. 167	事業名	湯河原町育英奨学金
学校教育課	事業概要	町内在住の優良な生徒で、経済的理由により高等学校課程の修学が困難な者に、学資等を交付し修学を奨励する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○奨学金を給付		
決算額	3,944 千円	決算見込額 4,124 千円 予算額 4,124 千円

4 生涯学習

計画書 P 120

- 子どもから社会人、高齢者に至るまで、いつでも・どこでも・誰でも学ぶことができるような学習活動を支援します。
- 教育基本方針に沿って、「人と人とのふれあいを大切に、思いやりの心」を育み、「生涯にわたる各年代層に対応した自主的な学習活動」を支援し、「人権教育及び人権啓発」、「家庭・地域の教育力の向上」、「青少年の健全育成」、「芸術・文化の振興と文化遺産の保護・活用」、「町民一人ひとりのライフスタイルに対応した生涯スポーツの普及」に努め、推進していきます。
- 図書館は町民の身近にあって、「自ら求めて学ぶ」文化活動の拠点として、図書、視聴覚資料や郷土資料を収集し提供するほか、これら郷土資料による展示会の企画など、町民の文化活動や生涯にわたる各年代層に対応した自主的な学習の拠点として展開していきます。

【参考となる指標】町民大学の受講生の人数

実績	
令和2年度 0 人	令和3年度 0 人



令和12年度の目標
120 人

【参考となる指標】図書館の年間貸出点数

実績	
令和2年度 93,000 点	令和3年度 112,606 点



令和12年度の目標
120,000 点

(1) 生涯学習推進体制の整備

①町民大学の拡充

事業 No. 168	事業名	町民大学運営事業
社会教育課	事業概要	町民の教養講座として各分野の専門家を講師に招き、毎月第3土曜日（年間12回）に講義を行う。町からの委託により町民大学運営委員会が企画・運営する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○運営費を助成		
決算額	11 千円	決算見込額 600 千円 予算額 1,400 千円

(2) 生涯学習内容の充実

①多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成

事業 No. 169	事業名	学習活動推進事業
社会教育課	事業概要	地域会館の活用や地域に根ざした生涯学習の推進を図るとともに、郷土の豊かな自然や文化財に興味や関心を持ち、様々な体験を通して人を愛する心を育む。
ソフト事業		
2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度
○自然科学・歴史文化探訪		
○地域会館における遊びと学び		
○親子陶芸教室		
決算額	304 千円	決算見込額 290 千円 予算額 385 千円

(3) 図書館施設・運営の充実

①図書館施設整備の推進

事業 No. 170	事業名	図書館運営事務経費（施設整備事業含む）		
図書館	事業概要	経年に伴う施設・設備の改修工事を行い、安心・安全で誰もが快適に利用できる、明るく親しみやすい施設を目指す。		
ハード事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○施設・設備の改修・修繕 ・建物の修繕・維持管理				
決算額	4,352 千円	決算見込額	2,749 千円	予算額 450 千円

②図書館資料の充実

事業 No. 171	事業名	図書館資料整備事業			
図書館	事業概要	文化活動の拠点として、図書館サービスの基礎となる図書館資料の充実に努め、			
ソフト事業		利用者の拡大や貸出数の増加を図る。			
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度	
○資料整備を実施					
決算額	5,751 千円	決算見込額	4,596 千円	予算額	4,060 千円

④子どもたちに対するサービスの推進

事業 No. 172	事業名	ブックスタート・セカンドブック推進事業			
図書館	事業概要	4か月児健康診査時に、絵本及びブックリスト等を提供し、読み聞かせを実演することで、乳児の言葉と心を育み、絵本で親子の絆を深める。(ブックスタート)			
ソフト事業		小学校入学時に、図書と読書手帳及びうちどく（家読）ブックリスト等を提供し、学齢期の家庭での読書を支援する。(セカンドブック)			
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度	
○読書推進活動を実施		○子ども読書活動推進事業へ統合			
決算額	201 千円	決算見込額	－	予算額	－

5 スポーツ

計画書P123

○町民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康増進と体力の向上を図り、楽しく充実した日々を送ることができるよう、一人からでも、また家族や友人と気軽に参加できるような事業を積極的に開催し、スポーツの普及とスポーツ活動への参加機会の拡充を図ります。

【参考となる指標】社会体育施設の利用者数

実績			令和12年度の目標
令和2年度 38,669 人	令和3年度 51,187 人		84,000 人

【参考となる指標】湯河原温泉オレンジマラソン大会の参加申込数

実績			令和12年度の目標
令和2年度 中止	令和3年度 中止		3,000 人・組

(1) スポーツ施設の充実

①スポーツ施設の利用促進・運営充実

事業 No. 173	事業名	ヘルシープラザ運営事業
社会教育課	事業概要	管理・運営に指定管理者制度を導入することにより、経費の削減を図るとともに、民間事業者の持つノウハウを活かした効果的かつ効率的な運営を行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○指定管理者による管理・運営		
決算額	25,799 千円	決算見込額 26,535 千円
		予算額 28,628 千円

事業 No. 174	事業名	湯河原町民体育館運営経費
社会教育課	事業概要	管理・運営に指定管理者制度を導入することにより、経費の削減を図るとともに、民間事業者の持つノウハウを活かした効果的かつ効率的な運営を行う。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○指定管理者による管理・運営		
決算額	6,885 千円	決算見込額 11,958 千円
		予算額 13,628 千円

事業 No. 175	事業名	湯河原町総合運動公園弓道場運営経費
社会教育課	事業概要	湯河原町民体育館の管理・運営に指定管理者制度を導入することにより、経費の削減を図るとともに、民間事業者の持つノウハウを活かした効果的かつ効率的な運営を行うことにより、施設利用者等のサービスの向上を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○指定管理者による管理・運営		
決算額	2,242 千円	決算見込額 2,013 千円
		予算額 2,344 千円

(2) スポーツ活動の支援

①スポーツ活動の支援

事業 No. 176	事業名	保健体育総務事務経費（スポーツ少年団助成金）
社会教育課	事業概要	湯河原町スポーツ少年団の各団は、それぞれの活発な活動を通じて青少年のスポーツ振興、健全育成に寄与するとともに、町の行事に協力いただいているため、その活動費の一部を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		
決算額	80 千円	決算見込額 80 千円
		予算額 80 千円

事業 No. 177	事業名	湯河原町体育協会補助金
社会教育課	事業概要	湯河原町体育協会を構成する各部は、それぞれ活発な活動を行うとともに、スポーツ少年団の育成に取り組むなど、スポーツの振興を図っている。また、町内外の各種大会に参加・協力し、スポーツ行事の企画・立案・運営等において中心的な役割を担っているため、この活動に対し補助金を交付する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		
決算額	1,227 千円	決算見込額 1,900 千円
		予算額 1,900 千円

事業 No. 178	事業名	保健体育総務事務経費（スポーツ振興助成事業）
社会教育課	事業概要	ブロック別（関東大会等）、全国大会やそれに準ずる大会に参加する選手、あるいは団体に対し、湯河原町スポーツ振興助成金交付基準に基づき、その参加にかかる経費の一部を助成する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○参加経費を助成		2023（令和5）年度
決算額	5 千円	決算見込額 130 千円
		予算額 60 千円

②スポーツ・レクリエーションの場づくり

事業 No. 179	事業名	町民レクリエーションの集い開催事業
社会教育課	事業概要	誰もが参加できるスポーツの行事として、町民相互の親睦、異世代間の交流及び健康・体力の増進を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○新型コロナウイルス感染症対策を検討（集いのあり方の検討）		2023（令和5）年度
○町民レクリエーションを開催		
決算額	—	決算見込額 —
		予算額 1,526 千円

事業 No. 180	事業名	各種大会開催事業
社会教育課	事業概要	各種団体にスポーツ大会の開催を委託し、町民相互の親睦、異世代間の交流及び健康・体力の増進を図る。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○新型コロナウイルス感染症の影響により各種大会中止		2023（令和5）年度
○グラウンドゴルフ・町民バレー開催		○各種大会を開催
決算額	12 千円	決算見込額 99 千円
		予算額 418 千円

③スポーツ教室、イベントの開催

事業 No. 181	事業名	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業
社会教育課	事業概要	本町の「空・花・湯」を満喫し仲間達との再会とふれあいを深めてもらうとともに、町のスポーツ振興と観光に寄与することを目的に、本町最大のスポーツイベントとしてマラソン大会を開催する。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
		2023（令和5）年度
		○マラソン大会を開催 ・10 km、1,000 人に縮小して開催
決算額	—	決算見込額 11,033 千円
		予算額 20,842 千円

6 青少年健全育成

計画書 P125

○次世代を担う青少年が、豊かな創造性や若いエネルギーを十分に発揮し、それぞれの夢に向かって成長できるよう、家庭、地域、学校、青少年育成団体や関係機関とともに手を携え取り組みます。

【参考となる指標】町内巡回パトロールの実施回数

実績	
令和2年度 900 回	令和3年度 875 回



令和12年度の目標
900 回

【参考となる指標】学童保育の参加児童延べ人数

実績	
令和2年度 26,117 人	令和3年度 22,266 人



令和12年度の目標
18,700 人

(1) 家庭・地域・学校の連携

①青少年健全育成関係団体の支援

事業 No. 182	事業名	青少年育成事務経費（町青少年指導員会助成金）
社会教育課 ソフト事業	事業概要	湯河原町青少年指導員会の活動に対し助成を行うことで、青少年の自発的活動とその育成活動を推進し、青少年の健全な育成を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		2023（令和5）年度
決算額	150 千円	決算見込額 150 千円 予算額 150 千円

事業 No. 183	事業名	青少年育成事務経費（町子ども会育成団体連絡協議会助成金）
社会教育課 ソフト事業	事業概要	湯河原町子ども会育成団体連絡協議会の活動に対し助成を行うことで、地域における青少年の見守り体制の強化を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		2023（令和5）年度
決算額	104 千円	決算見込額 310 千円 予算額 360 千円

事業 No. 184	事業名	青少年健全育成活動推進事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	地域における子どもと大人のふれあいを図り、各団体における体験活動を推進・支援することを目的とする。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○活動費を助成		2023（令和5）年度
○各種大会を実施		
○インリーダー宿泊研修・養成事業を実施		○親子ます釣り大会を実施
決算額	217 千円	決算見込額 624 千円 予算額 520 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-6-(1)-②青少年育成体験活動の推進、4-I-6-(1)-③青少年相談の充実、4-I-6-(2)-②次世代地域指導者の育成】

②青少年育成体験活動の推進

事業 No. 184	事業名	青少年健全育成活動推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-6-(1)-①青少年健全育成関係団体の支援】		

③青少年相談の充実

事業 No. 184	事業名	青少年健全育成活動推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-6-(1)-①青少年健全育成関係団体の支援】		

④学童保育・放課後子ども教室の充実

事業 No. 185	事業名	放課後児童健全育成事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	放課後、保護者の適切な保護を受けることができない小学校児童の健全な育成を図るため、余裕教室を活用した学童保育所を3小学校で開設する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○3小学校で学童保育を実施・民間事業者へ委託		2023（令和5）年度
決算額	53,585 千円	決算見込額 56,921 千円 予算額 56,178 千円

事業 No. 186	事業名	放課後子ども教室推進事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	放課後に小学校の余裕教室を活用して、地域住民の協力を得て、子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を実施する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○東台福浦小、湯河原小及び吉浜小で放課後子ども教室を実施		2023（令和5）年度
決算額	4,000 千円	決算見込額 4,869 千円 予算額 5,139 千円

(2) 地域指導者の育成・支援

②次世代地域指導者の育成

事業 No. 184	事業名	青少年健全育成活動推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-6-(1)-①青少年健全育成関係団体の支援】		

-- II 文化芸術の振興・保存

7 文化芸術

計画書 P127

○芸術や文化の創造は、潤いのある生活と生涯を通じての「心の教育」の源泉であり、「潤いと安らぎのまちづくり」を進める上で特に重要視されます。このため、文化団体活動への支援、音楽会・文化祭の開催、展覧会などの多彩な活動を通じ、芸術と文化に彩られるまちづくりをめざします。また、私たちの祖先が残した貴重な文化遺産である文化財や天然記念物を保護・保存し、活用することを積極的に推進します。

【参考となる指標】美術館の利用者数

実 績			令和 12 年度の目標
令和 2 年度 12,932 人	令和 3 年度 15,912 人		25,000 人

(1) 伝統行事の振興

①伝統行事・祭事の伝承と活用

事業 No. 187	事業名	伝統文化体験事業
地域政策課 ソフト事業	事業概要	町内在住の親子等を対象に伝統文化体験教室を開催し、地域の魅力を再認識していただく機会とするとともに、コロナ禍で希薄となっていた地域コミュニティの再構築、地域の伝統文化・生活文化の保存及び継承を推進する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○伝統文化親子教室事業		2023（令和5）年度
○伝統文化体験事業		
決算額	4,255 千円	決算見込額 120 千円 予算額 2,234 千円

(2) 町民文化芸術活動の支援

①教養文化の土壌醸成

事業 No. 188	事業名	文化祭開催事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	芸術・文化各方面で活動している各種文化団体を中心に毎年10～11月の2か月間、日頃の成果を発表し、交流を深めるとともに、広く一般町民にも参加を呼びかけ、文化の振興・発展を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○文化祭を中止		2023（令和5）年度
○音楽会を中止		○文化祭を開催
		○音楽会を開催
決算額	0 千円	決算見込額 345 千円 予算額 345 千円

②美術館の充実・活用

事業 No. 189	事業名	展覧会開催事業
美術館	事業概要	常設館及び平松礼二館では、年4回の展示替えや企画展を開催し、作品を後世に伝えとともに「文化の薫る町・ゆがわら」の魅力を発信する役割を担っている。また、他館からの借用による特別展や現代作家展等の展覧会を開催している。
ソフト事業		
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○常設展・企画展・現代作家展を開催		○展示コーナーで文化団体の作品展を開催 ○特別展の開催を検討
○平松礼二館 15 周年記念展を開催		
決算額	2,894 千円	決算見込額 3,920 千円
		予算額 3,154 千円

事業 No. 190	事業名	アトリエ公開事業		
美術館	事業概要	平松礼二画伯の「湯河原十景」の作品制作のため、美術館を改修してアトリエを設け、制作過程を一般公開する。また、アトリエ内で平松画伯による講座やワークショップを開催する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○アトリエ公開事業実施		○美術館運営経費へ移行		
決算額	550 千円	決算見込額	－	予算額 ー

事業 No. 191	事業名	開館 2 5 周年記念事業		
美術館	事業概要	記念事業を実施することで、町民の生涯学習活動や地域の観光振興に寄与することができ、また、美術館の歴史及び意義を再確認することで、今後の美術館活動の更なる発展の機会とする。		
ソフト事業				
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度
				○開館 2 5 周年記念事業
決算額	—	決算見込額	—	予算額 916 千円

8 文化財・史料		計画書 P129
○貴重な文化遺産である文化財や天然記念物を保護・保存し活用することを積極的に推進し、また、その周知に努めます。		
【参考となる指標】地域の歴史と文化の探訪参加者人数		
実績		令和12年度の目標
令和2年度0人	令和3年度0人	30人

Ⅲ 多文化共生社会の推進

9 国際理解	計画書 P130
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年(2021年)に延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、今後、外国人観光客の増加を見据えた、インバウンド誘客を効果的に進めるために町民の国際理解を推進していきます。また、外国籍住民が外国語で生活について相談できる窓口の設置のほか、イベントで外国籍住民が自分の出身国・地域を紹介することで町民と交流を図る機会を設けるなど、外国籍住民の生活の支援に努めます。	

(1) 国際理解の推進

①多文化共生意識の高揚

事業 No. 192	事業名	草の根技術協力事業
地域政策課 ソフト事業	事業概要	タイ国のコミュニティーベース統合型高齢者ケアの普及モデル構築と、観光分野や海外人材活用における交流を通し、町民の異文化・国際理解の深化、多文化共生への理解を醸成する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○普及モデルの構築		○周辺自治体への普及 ○観光分野・海外人材活用による交流
決算額	3,000 千円	決算見込額 14,525 千円
		予算額 18,600 千円

②国際理解講座の開催

事業 No. 193	事業名	国際理解講座開催事業（平成29年度より国内外親善交流推進事業と統合）
社会教育課 ソフト事業	事業概要	国際化時代を迎えている昨今、真の国際人としての見識を広め、国際理解を図ることを目的に語学、特に親善都市の母国語である英語・韓国語を中心にゆがわら国際交流協会に委託し、講座を開催する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○地域政策課事業へ統合		
決算額	—	決算見込額 —
		予算額 —

10 国際交流

計画書 P132

○国際化が進展していく中で、更にお互いの理解が深まるよう国際交流を推進していきます。

【参考となる指標】姉妹都市等と交流した人数

見込
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、未実施



令和12年度の目標
50人

(1) 国際交流活動の展開

①姉妹都市などとの交流拡大

事業 No. 194	事業名	国内外親善交流推進事業
地域政策課 ソフト事業	事業概要	本町と親善都市提携、姉妹都市提携等を結んでいる国内外の都市（広島県三原市・富山県立山町・東京都豊島区・オーストラリアポートスティーブンス市・大韓民国忠州市・イタリアティヴォリ市）と幅広い交流を推進する。また、インバウンド促進に向けた海外のPR拠点づくりとして、新たな交流・拡大を検討する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○国内外の親善都市等と交流		○ポートスティーブンス市訪問団受入
決算額	2,179 千円	決算見込額 3,260 千円
		予算額 3,260 千円

【他の施策体系別計画への位置づけ：基本目標4-Ⅲ-10-(1)-②国際文化交流の推進】

事業 No. 195	事業名	親善都市子ども交流推進事業
社会教育課 ソフト事業	事業概要	町内在住の中学2年生を対象に、姉妹都市提携を結んでいるオーストラリアポートスティーブンス市を訪問（ホームステイ）し、グローバルな視野や考え方の醸成を図る。また、町内在住の小学5年生及び6年生を対象に、本町と親善都市提携を結んでいる広島県三原市と本町とを隔年で相互訪問し、交歓会や交流会などを通じて互いの交流と親交を深める。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○三原市児童とオンラインによる交流を実施		○中学生派遣事業を中止（ポートスティーブンス市） ○三原市児童が本町を訪問
決算額 48 千円		決算見込額 753 千円
		2023（令和5）年度
		○中学生派遣事業を検討（ポートスティーブンス市） ○本町児童が三原市を訪問
		予算額 1,556 千円

事業 No. 194	事業名	国内外親善交流推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標4-Ⅲ-9-(1)-①多文化共生意識の高揚】		

②国際文化交流の推進

事業 No. 194	事業名	国内外親善交流推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標4-Ⅲ-10-(1)-①姉妹都市などとの交流拡大】		

11 地域間交流	計画書P133
○これまで築き上げてきた歴史や文化に基づいた親善都市等との交流をより深化させるとともに、近隣市町村との地域間交流や連携を深めます。	
【参考となる指標】三原市との交流に参加した湯河原町の児童人数	
実績	令和12年度の目標
令和2年度 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施）	30人
令和3年度 10人	

基本目標5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり

-- I 情報の共有

行政情報がすべての人に届くように、多様な発信に取り組むとともに、町民参画による協働のまちづくりを推進します。一方で個人情報の保護にも努めます。

分野	主要施策	細施策
1 情報公開	(1) 開かれた行政の実現	①情報公開の推進 ②個人情報保護の推進
2 広報広聴	(1) 広報広聴活動の充実	①広報機能の充実 p. 73 ②広聴機能の充実 ③親しみの持てる行政の推進 ④ホームページの充実 ⑤出前講座などの開催
3 情報化	(1) 地域情報化の推進	①自治体クラウドの推進 p. 74
	(2) 電子自治体の推進	①マイナンバーカードの新たな有効活用 ②オープンデータの利活用 ③ICT利活用による効率化

-- II 協働によるまちづくりの推進

町民、議会及び町がそれぞれに果たすべき責任を自覚して、役割を分担しながら協働によるまちづくりを推進します。また、NPOや企業、団体など多様な主体と連携し、それぞれの強みを活かした協働を推進します。

分野	主要施策	細施策
4 町民参加	(1) まちづくりへの町民参加の推進	①各種計画への町民参加促進 ②まちづくり団体の交流促進
5 人権・男女共同参画	(1) 人権意識の啓発	①啓発活動の推進 ②教育・研修の推進 ③人権問題相談体制の充実
	(2) 男女共同参画社会の実現	①政策決定過程への女性の参画 ②就業・雇用環境の整備 ③教育・学習・啓発活動の推進 ④身体と性に関する女性の人権の確立 ⑤男女共同参画のまちづくり p. 75
6 コミュニティ	(1) 自治の促進	①自助・共助意識の高揚
	(2) コミュニティ活動の促進	①自治会の育成 p. 76 ②地域活動の促進

Ⅲ 社会環境の変化に対応した行政経営の推進

多様化する住民ニーズに対応するため、デジタル技術の活用や行財政改革を推進し、持続可能な行政運営の推進に努めます。

分野	主要施策	細施策
7 行政経営	(1) 行政改革の推進	①行政組織の見直し ②適切な人事管理の推進 p. 76
	(2) 人材育成の推進	①人材育成の推進
	(3) 行政評価システムの推進	①行政評価システムの推進 p. 76
8 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	①税収の確保強化 ②自主財源の確保 p. 77 ③交付金、補助金の活用
	(2) 効果的な財政運営	①事務事業の効率化 ②公債費の抑制 ③各種基金への積立 ④公共施設等の総合的な管理運営 ⑤土地開発公社の適切な運営 p. 77 ⑥財務書類の作成・活用

Ⅳ 広域行政の推進

近隣の自治体との連携により、広域的な課題解決に取り組みます。

分野	主要施策	細施策
9 広域行政	(1) 広域行政の連携拡大	①広域行政分野の拡大・強化 p. 78 ②職員交流の推進

Ⅰ 情報の共有

1 情報公開	計画書 P 134
○開かれた行政をめざし、町民が町政に関する情報をいつでも容易に得られるよう、個人情報の保護に最大限の配慮をしながら町民への情報提供の積極的な推進に努めます。	

2 広報広聴

計画書 P 135

○町民と行政が互いの情報を正確かつ迅速に入手できる広報広聴環境を整え、町民とのコミュニケーションを活発にするため、様々な媒体を活用した積極的な情報の発信と共有を図り、町民とともに考えるまちづくりを推進します。また、出前講座では、多様な価値観と複雑に変化する社会情勢を的確に把握し、町民のニーズに対応した町政に関する幅広い分野の講座の拡充に努めます。

【参考となる指標】メールマガジン登録アドレス数

実 績	
令和 2 年度 2,911 件	令和 3 年度 4,132 件

令和 12 年度の目標
6,000 件

(1) 広報広聴活動の充実

① 広報機能の充実

事業 No. 196	事業名	広報ゆがわら等発行事業
秘書広報室 ソフト事業	事業概要	「広報ゆがわら」を毎月発行し、時季にあった特集、町政ニュース、健康・保健ガイド、フォトニュース、イベント情報、ごみ収集カレンダーなどを発信する。 また、「町民カレンダー」を発行し、町の主な行事や健康管理に関する情報、町税などの納期、町内医療施設ガイドなどを掲載し、情報発信することにより、町民と行政をつなぐパイプ役を担う。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○「広報ゆがわら」を発行		→
○「町民カレンダー」を発行		→
		○「町民カレンダー」掲載広告の掲載枠を拡大・募集方法検討
決算額	9,072 千円	決算見込額 9,638 千円
		予算額 10,784 千円

事業 No. 197	事業名	F M放送委託事業
秘書広報室 ソフト事業	事業概要	地域コミュニティ放送として、「広報あたま・ゆがわら・まなづる」などの番組により地域に密着した行政情報を広く周知する。また、緊急時における情報の伝達手段として、停電時等においては有効な手段となる。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○広報番組を委託		→
決算額	8,250 千円	予算額 8,250 千円
		予算額 8,250 千円

事業 No. 198	事業名	t v k データ放送情報発信事業
秘書広報室 ソフト事業	事業概要	地上デジタル放送のサービスの一つである『データ放送』（3 c h ・ t v k）を利用して、イベント情報、町からのお知らせ、防災行政無線の放送内容、休日当番医、防災気象情報などの情報を発信する。
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度
○データ情報を発信		→
決算額	264 千円	決算見込額 264 千円
		予算額 264 千円

事業 No. 199	事業名	メール配信サービス事業
デジタル推進室 ソフト事業	事業概要	電子メール及びLINE を利用して、リアルタイムに町政情報や観光情報などを幅広く町内外に向けて知らせることで、登録者に有用な情報を提供する。「湯ったりトーク」、「防災・防犯情報」、「暮らしのお知らせ」、「湯河原温泉だより」を配信する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○町政・観光・気象情報などの情報配信		2023（令和5）年度
○LINE 送信機能追加システム改修		○FMラジオとの配信連携
決算額	2,357 千円	決算見込額 2,556 千円
		予算額 1,386 千円

事業 No. 200	事業名	町ホームページ更新事業
デジタル推進室 ソフト事業	事業概要	リアルタイムに町政情報や観光情報、防災情報など幅広く町内外に発信する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○新システム稼働		2023（令和5）年度
決算額	4,447 千円	決算見込額 5,156 千円
		予算額 5,157 千円

3 情報化		計画書 P137
○行政事務の効率化や行政サービスの向上、多様化・高度化する町民ニーズへの対応のため、効果的にICTを活用し、電子自治体に向けた取組みを推進していきます。また、推進にあたっては、個人情報保護など情報セキュリティ対策を徹底します。		
【参考となる指標】共同システムの利用業務数		
実績		令和12年度の目標
令和2年度 39 件	令和3年度 40 件	45 件
【参考となる指標】電子申請件数、電子入札件数		
実績		令和12年度の目標
令和2年度 申請1,394件、入札156件	令和3年度 申請2,076件、入札165件	申請 3,000 件、入札 150 件

(1) 地域情報化の推進

①自治体クラウドの推進

事業 No. 201	事業名	電子計算管理経費
デジタル推進室 ソフト事業	事業概要	県内全町村で構成する「町村情報システム共同事業組合」が共同で運用している基幹系システム、内部情報系システム及び神奈川県と県内市町村が共同で運用している電子申請・届出システム、電子入札システムを利用することにより、情報システム費用の削減及び町民の利便性向上及び行政事務の効率化を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○共同システムの利用		2023（令和5）年度
○県市町村電子自治体共同運営		
決算額	70,731 千円	決算見込額 75,881 千円
		予算額 80,036 千円

-- II 協働によるまちづくりの推進 --

4 町民参加

計画書 P 139

○各種まちづくり計画策定の際に町民の意見が反映されるよう湯河原町自治基本条例に基づいた町民参加のまちづくりを更に推進していきます。

○町民や町内外の事業者、大学などの教育機関、町内の各団体との連携を進め、新たな発想や取組みで地域活性化を図ります。

【参考となる指標】 各種会議体への町民参加数

実 績	
令和 2 年度 ー 人	令和 3 年度 ー 人

令和 12 年度の目標

120 人

5人権・男女共同参画

計画書 P 140

○男女の区別なく、様々なライフスタイルに合った働き方ができ、特に働く女性が仕事と家庭の両立を図り、女性も安心して就労できる社会をつくるためにも、育児休業制度を取得しやすい雇用環境を作ることに努めます。

○学校教育においては、一人ひとりが性別にかかわらず、思いやりを持ち、男女の相互理解と協力の大切さに観点を置いた教育活動を行うことに努めます。

○国や県、他市町村及び関係機関との連携を強化し、国の男女共同参画基本計画※との整合性を図りながら、施策の推進に努めます。

○人権に関する知識を深め、意識の向上を図り、関係組織や団体とともに差別や偏見のない地域社会の構築をめざします。

○配偶者等からの暴力防止や被害者への支援を進めるため、関係機関等と連携し、相談体制の充実に努めます。

【参考となる指標】男女共同参画講演会の参加者数

実 績	
令和 2 年度 38 人	令和 3 年度 31 人

➡

令和 12 年度の目標
70 人

(2) 男女共同参画社会の実現

⑤男女共同参画のまちづくり

事業 No. 202	事業名	企画政策事務経費（男女共同参画推進事業）		
地域政策課	事業概要	男女共同参画講演会を開催し、地域における男女共同参画のまちづくりを推進する。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
○講演会を開催				→
○「ゆがわら男女共同参画プラン」改訂				→
決算額	232 千円	決算見込額	30 千円	予算額 77 千円

6 コミュニティ

計画書 P142

○社会参加の重要なステージとして様々な分野でのコミュニティ活動※を促進し、町民の連帯意識の向上を図ります。また、社会環境の変化に伴う自治会運営のあり方について、地域性を考慮し課題解決に努めます。

【参考となる指標】区会への加入率

実 績	
令和 2 年度 70.09%	令和 3 年度 69.97%



令和 12 年度の目標
70%

(2) コミュニティ活動の促進

①自治会の育成

事業 No. 203	事業名	区会助成事業
地域政策課 ソフト事業	事業概要	区会運営の促進を図るために運営費の助成を行うとともに、町との連携調整の場として区長連絡協議会に係る経費を負担する。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○区会運営費を助成		→
○区長連絡協議会運営経費を負担		→
		○地区備蓄資機材負担金を拠出 →
決算額	7,334 千円	決算見込額 7,834 千円 予算額 6,400 千円

-- III 社会環境の変化に対応した行政経営の推進 -----

7 行政経営	計画書 P143
○人事評価制度や人材育成による適切な人事管理を行うとともに、組織・機構などの効率化により迅速な意思決定を図ります。また、民間活力の活用などにより町民サービスの向上とともに行財政改革の推進に努めます。	
○町民に対し持続可能な行政サービスを提供するため、行政活動の成果を常に検討できる組織と体制の確立に努めます。	

(1) 行政改革の推進

②適切な人事管理の推進

事業 No. 204	事業名	人事評価制度導入事業
庶務課 ソフト事業	事業概要	職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とする。また、個々の職員を困難な課題を解決する能力と高い業績を上げることができるような人材へ育てとともに、職員の士気高揚を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○評価制度の運用		→
○期末手当に評価結果を反映		→
○人事評価システム改修作業委託		○昇給昇格に評価結果を反映 →
○被評価者研修の実施		○評価者研修の実施
		○被評価者研修の実施
決算額	2,717 千円	決算見込額 1,650 千円 予算額 1,650 千円

(3) 行政評価システムの推進

①行政評価システムの推進

事業 No. 205	事業名	企画政策事務経費（行財政改革推進事業）
地域政策課 ソフト事業	事業概要	有識者や公共団体の代表者で構成する「湯河原町行財政改革推進委員会」に計画の諮問、実績の報告等を行い、行財政改革の推進を図る。
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度
○行財政改革推進委員会の開催		→
○行財政改革大綱の実施計画推進		→
○行財政改革大綱の策定		→
決算額	45 千円	決算見込額 0 千円 予算額 48 千円

8 財政運営

計画書 P 145

○自主財源の安定的な確保に努めるとともに、選択と集中により効率的で効果的な事業を展開することにより、最少の経費で最大の効果が得られるように努め、多様化する町民ニーズに対応します。また、厳しい経済状況が続く中、個々の滞納者に応じた実効性ある滞納処分の実施により財源の確保に努めていきます。併せて、更なる事務の合理化を進め、経費の削減を図ります。

【参考となる指標】 ふるさと納税寄附額（千円未満四捨五入）

実 績			令和 12 年度の目標
令和 2 年度 263, 138 千円	令和 3 年度 383, 417 千円		350, 000 千円

(1) 財源の確保・拡充

①税収の確保・強化

事業 No. 206	事業名	町税口座振替納付推進事業		
徴収対策室	事業概要	納税方法が多様化する中で、口座振替制度での納付を推進することにより、納税者の納付手続きの簡素化及び利便性の向上を図るとともに、収納事務の効率化を目指すもの。		
ソフト事業				
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度
				○事業開始
決算額	—	決算見込額	—	予算額 2,996 千円

②自主財源の確保

事業 No. 207	事業名	駐車場管理事業		
土木課	事業概要	町有財産の有効活用と周辺地域の利便性の確保のため、駐車場を運営する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○駐車場運営				➡
決算額	6,509 千円	決算見込額	5,971 千円	予算額 6,388 千円

事業 No. 208	事業名	まちづくり寄附金推進事業		
財政課	事業概要	まちづくり寄附金の推進を図るとともに、町内産業の活性化に寄与することを目的として、寄附者に記念品を贈呈する。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
○寄附金の受付		→		
○情報発信		○自販機システムの活用		
○寄附自販機の設置		○返礼品等の電子化		
決算額	133,415 千円	決算見込額	137,108 千円	予算額 103,401 千円

事業 No. 209	事業名	企業版ふるさと納税推進事業		
財政課	事業概要	企業版ふるさと納税の推進を図り、自主財源の確保を図る。		
ソフト事業				
2021（令和３）年度		2022（令和４）年度		2023（令和５）年度
		○寄附金の受付		
		○湯河原町のPR		
		○寄附企業の募集・アプローチ		
決算額	—	決算見込額	—	予算額 1,320 千円

(2) 効果的な財政運営

⑤土地開発公社の適切な運営

事業 No. 210	事業名	湯河原町土地開発公社補助金		
土木課	事業概要	平成 12 年度から土地開発公社に先行取得させた保有地の簿価上昇を抑制するため、借入利息の利子補給、平成 20 年度から町に駐車場管理業務を移管したことに伴う損失補填及び事務費を助成し、土地開発公社の健全化を図る。		
ソフト事業				
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度
○利子補給、損失補填及び事務費を助成		○利子補給補助		→
決算額	692 千円	決算見込額	434 千円	予算額 1,554 千円

事業 No. 211	事業名	土地開発公社保有用地取得事業			
土木課	事業概要	平成 22 年度に 30 年間の債務負担行為を設定し、予算の範囲内で公共用地の買い戻しを行い、土地開発公社の健全化を図る。			
ソフト事業					
2021（令和 3）年度		2022（令和 4）年度		2023（令和 5）年度	
○駅前整備事業用地					
決算額	15,000 千円	決算見込額	13,500 千円	予算額	－

IV 広域行政の推進

9 広域行政	計画書 P 148
○広域の自治体が連携することで、より効率的・効果的に行うことのできる施策を見極めるとともに、複雑・多様化する町民ニーズに的確に対応するためにも更なる連携と広域行政の強化・充実を図ります。	

(1) 広域行政の連携拡大

①広域行政分野の拡大・強化

事業 No. 212	事業名	企画政策事務経費（各協議会等負担金）	
地域政策課	事業概要	湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会、熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会、熱海・湯河原広域行政推進協議会、神奈川県西部広域行政協議会及び富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議に係る費用を負担することにより、広域行政の強化・充実を図る。	
ソフト事業			
2021（令和3）年度		2022（令和4）年度	
○運営費用等を負担			
決算額	387 千円	決算見込額	386 千円
		予算額	386 千円

湯河原町総合計画実施計画とSDGsとの関係

湯河原町総合計画「ゆがわら 2021 プラン」では、恒久的なまちづくりの基本理念である「湯河原町町民憲章」の精神を尊重しながら、次の5つを計画の基本理念としています。

- 1 時代の変化に応じたまちづくりを進める
- 2 豊かな自然資源の活用と保全に留意する
- 3 健康で文化的な生活の確保と質の向上を図る
- 4 だれもが豊かに暮らせる地域経済の活性化を図る
- 5 連携と協働のもと町民一丸となってまちづくりを進める

この基本理念は、国連が提唱し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むSDGs（持続可能な開発目標）の理念と軌を一にするものです。

町がこれまで取り組んできた事業とSDGsの関連を整理したところ、SDGsの17のゴール全てに関係があることが確認できました。

SDGs（持続可能な開発目標）

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発のための2030アジェンダは、開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済、社会及び環境の三側面を不可分のものとして調和させる統合的取組みとして作成されました。そして、2030アジェンダは、先進国と開発途上国がともに取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として採択され、その中に「SDGs（持続可能な開発目標）」として17のゴール（目標）が掲げられました。

こうした動きを受け、国では、SDGsにかかる施策の実施について、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、全国務大臣を構成員とする「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」が設置（2016年5月20日閣議決定）され、2016年12月22日の会合で、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が決定されました。

この実施指針の中では、地方自治体に対し各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsの要素を最大限反映することが求められています。



<基本目標1 魅力と活力にあふれにぎわいのあるまちづくり>

SDGsの 17のゴール ゆがわら 2021プランの事業		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
Ⅰ 観光の振興	1 観光				○			
	2 温泉						○	
Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業							
	4 工業※							
	5 農業		○					
	6 林業							
	7 漁業海業							
Ⅲ 雇用の確保	8 雇用対策					○		
	9 勤労者福祉※					○		
Ⅳ 地方創生の推進	10 地方創生	○	○	○	○			

※事業の位置づけ無し

<基本目標2 とともに支え合い笑顔で暮らせるまちづくり>

SDGsの 17のゴール ゆがわら 2021プランの事業		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
Ⅰ 保健・医療の充実	1 健康づくり		○	○		○		
	2 予防対策			○				
	3 医療			○				
Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉			○				
	5 児童福祉・子育て支援	○		○	○			
	6 障がい児者福祉	○		○				
	7 高齢者福祉		○	○				
Ⅲ 社会保障の充実	8 介護保険			○				
	9 社会保険			○				
	10 生活支援・ひとり親福祉			○		○		

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
○		○		○				○	○
○									
○	○								
	○		○				○		
							○		
						○			
○									
○									
○	○		○	○			○		○

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
		○	○					○	
○			○	○					
○									○
		○							○
		○						○	
		○	○						

<基本目標3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり>

SDGsの 17のゴール ゆがわら 2021プランの事業		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を表現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
I 計画的な土地利用による自然環境の保全	1 地球温暖化防止対策			○				○
	2 自然保護							
	3 土地利用							
	4 景観※							
	5 公園・緑地水辺			○				
II 持続可能な生活環境の構築	6 循環型社会の構築							○
	7 し尿・浄化槽汚泥処理						○	
	8 環境衛生						○	
	9 上下水道						○	
III 安全・安心の実現	10 防災・危機管理	○						
	11 治山・治水※							
	12 交通安全							
	13 防犯							○
	14 消防救急							
	15 消費生活							
IV 交通ネットワークの整備	16 道路整備		○					
	17 公共交通							

※事業の位置づけ無し

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
	○				○				
					○	○	○		
			○						
			○						
			○						
			○	○	○				
						○			
						○			
	○		○		○				
			○		○				
			○						
			○						
			○						
				○				○	
	○		○						
	○		○						

<基本目標4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり>

SDGsの 17のゴール ゆがわら 2021プランの事業		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
I 生涯にわたる学びの推進	1 家庭教育				○			
	2 幼児教育				○			
	3 学校教育				○			
	4 生涯学習				○			
	5 スポーツ			○	○			
	6 青少年健全育成				○			
II 文化芸術の振興・保存	7 文化芸術				○			
	8 文化財・史料							
III 多文化共生の推進	9 国際理解				○			
	10 国際交流				○			
	11 地域間交流							

<基本目標5 みんなでつくる自立と協働のまちづくり>

SDGsの 17のゴール ゆがわら 2021プランの事業		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
I 情報の共有	1 情報公開※							
	2 広報広聴							
	3 情報化							
II 協働によるまちづくりの推進	4 町民参加※							
	5 人権・男女共同参画					○		
	6 コミュニティ							
III 社会環境の変化に対応した行政経営の推進	7 行政経営							
	8 財政運営							
IV 広域行政の推進	9 広域行政							

※事業の位置づけ無し

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
									○
									○
									○
									○
									○
○									

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
								○	
								○	
				○					
								○	
○									○
			○						
									○
									○
									○

所管課別事業一覧

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
秘書広報室	196	広報ゆがわら等発行事業 (p. 73)	5-I-2-(1)	①広報機能の充実 (p. 73)
	197	F M放送委託事業 (p. 73)		
	198	t v k データ放送情報発信事業 (p. 73)		
デジタル推進室	26	街歩き情報配信サービス促進事業 (p. 12)	1-I-1-(3)	①観光イベント・施設情報の提供 (p. 12)
	199	メール配信サービス事業 (p. 74)	5-I-2-(1)	①広報機能の充実 (p. 73)
	200	町ホームページ更新事業 (p. 74)		
	201	電子計算管理経費 (p. 74)	5-I-3-(1)	①自治体クラウドの推進 (p. 74)
地域政策課	13	湯河原文学賞事業 (p. 9)	1-I-1-(1)	④歴史的・文化的資源の発掘、活用 (p. 9)
	18	企画政策事務経費(箱根ジオパーク協議会負担金) (p. 10)	1-I-1-(1)	⑥箱根ジオパークの活用 (p. 10)
	23	温泉場ぶらりお休み処運営事業 (p. 11)	1-I-1-(2) 1-I-1-(3)	②観光施設の活用 (p. 11) ③拠点観光スポットの整備・活用 (p. 13)
	31	ボランティア推進事業 (p. 13)	1-I-1-(5)	①観光ボランティアの活動の推進 (p. 13)
	48	雇用確保支援事業 (p. 19)	1-III-8-(1)	①就業機会の拡大 (p. 19)
	49	空き家対策推進事業 (p. 20)	1-IV-10-(1)	③空き家・空き店舗の活用 (p. 20)
	50	誰もが主役のプラットフォームマッチング事業 (p. 20)	1-IV-10-(2)	①移住促進のための居住環境等の整備 (p. 20)
	51	新たな温泉資源活用事業 (p. 20)		
	52	企画政策事務経費(地方版総合戦略推進事業) (p. 21)	1-IV-10-(1) ~(4)	
	116	危険木伐採等助成事業 (p. 46)	3-III-10-(1)	防災対策の推進 (p. 46)
	117	地域防災計画改定事業 (p. 47)	3-III-10-(1)	①地域防災計画の適切な運用 (p. 47)
	118	防災コミュニティセンター運営経費 (p. 47)	3-III-10-(1)	②防災拠点の整備 (p. 47)
	119	総合防災訓練実施事業 (p. 47)	3-III-10-(1)	③自主防災組織の強化と防災意識の醸成 (p. 47)
	120	防災行政無線(固定系)管理経費 (p. 47)	3-III-10-(1)	④非常通信連絡網の整備 (p. 47)
	121	F M放送緊急割込放送システム管理事業 (p. 48)		
	122	防災備蓄品購入等事業 (p. 48)	3-III-10-(1)	⑥防災倉庫・資機材の整備、食糧などの備蓄、非常物資・応急給水の確保 (p. 48)
	124	防災マップ作製事業 (p. 48)	3-III-10-(1)	⑨津波対策の強化 (p. 48)

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
地域政策課	128	防犯対策推進事業（p. 50）	3-Ⅲ-13-(1)	①防犯意識の高揚（p. 50）
	129	犯罪被害者等支援事業（p. 50）		
	130	防犯灯維持管理事業（p. 50）	3-Ⅲ-13-(1)	②防犯環境の整備（p. 50）
	131	住民生活安心サポート事業（p. 50）		
	151	交通不便地域対策事業（p. 55）	3-Ⅳ-17-(1)	②バス交通の充実（p. 55）
	187	伝統文化体験事業（p. 67）	4-Ⅱ-7-(1)	①伝統行事・祭事の伝承と活用（p. 67）
	192	草の根技術協力事業（p. 69）	4-Ⅲ-9-(1)	①多文化共生意識の高揚（p. 69）
	194	国内外親善交流推進事業（p. 69）	4-Ⅲ-10-(1)	①姉妹都市などとの交流拡大（p. 69）
	202	企画政策事務経費（男女共同参画推進事業）（p. 75）	5-Ⅱ-5-(2)	⑤男女共同参画のまちづくり（p. 75）
	203	区会助成事業（p. 76）	5-Ⅱ-6-(2)	①自治会の育成（p. 76）
	205	行財政改革推進事業（p. 76）	5-Ⅲ-7-(3)	①行政評価システムの推進（p. 76）
	212	企画政策事務経費（各協議会等負担金）（p. 78）	5-Ⅳ-9-(1)	①広域行政分野の拡大・強化（p. 78）
財政課	208	まちづくり寄附金推進事業（p. 77）	5-Ⅲ-8-(1)	②自主財源の確保（p. 77）
	209	企業版ふるさと納税推進事業（p. 77）		
庶務課	204	人事評価制度導入事業（p. 76）	5-Ⅲ-7-(1)	②適切な人事管理の推進（p. 76）
徴収対策室	206	町税口座振替納付推進事業（p. 77）	5-Ⅲ-8-(1)	①税収の確保・強化（p. 77）
介護課	79	老人クラブ活動等社会活動促進事業（p. 31）	2-Ⅱ-7-(1)	①社会参加・就業の支援（p. 31）
	80	湯河原町シルバー人材センター補助金（p. 31）		
	81	在宅医療・介護連携推進事業（p. 32）	2-Ⅱ-7-(2)	①地域包括ケアシステムの確立（p. 32）
	82	介護予防サポーター等養成事業（p. 32）	2-Ⅱ-7-(2)	②ボランティア活動の促進（p. 32）
	83	グループリビング（宅老所）運営事業（p. 32）	2-Ⅱ-7-(2)	③グループリビング（宅老所）事業の推進（p. 32）
	84	介護・生活支援事業（p. 32）	2-Ⅱ-7-(2)	④高齢者世帯に対する支援（p. 32）
	85	食の自立支援事業（p. 33）		
	86	介護用品支給事業（p. 33）		
	87	家族介護継続支援事業（p. 33）		
	88	介護サービス適正化事業（p. 33）	2-Ⅲ-8-(1)	①介護保険サービスの充実と保険給付適正化の推進（p. 33）
	89	地域ケア会議推進事業（p. 34）	2-Ⅲ-8-(2)	①地域包括ケアシステムの確立（再掲）（p. 34）
	90	生活支援体制整備事業（p. 34）		
	91	認知症総合支援事業（p. 34）		
	92	成年後見人制度申立等事業（p. 34）	2-Ⅲ-8-(2)	②認知症施策・権利擁護の推進（p. 34）
	93	地域包括支援センター事業（p. 35）	2-Ⅲ-8-(2)	④地域包括支援センターの円滑な運営（p. 35）

所管課別事業一覧

【介護課（つづき）】【住民課】【保健センター】【こども支援課】【社会福祉課】

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
介護課	94	介護予防把握事業（p. 35）	2-Ⅲ-8-(3)	①地域支援事業による介護予防の推進（p. 35）
	95	介護予防普及啓発事業（p. 35）		
	96	介護保険事業計画策定事業（p. 35）	2-Ⅲ-8-(5)	①介護保険制度の適切な運営（p. 35）
住民課	97	特定健康診査等事業費・生活習慣病重症化予防事業（国民健康保険事業特別会計）（p. 36）	2-Ⅲ-9-(1)	②特定健康診査・特定保健指導の推進（p. 36）
	98	保健事業（国民健康保険事業特別会計）（p. 36）	2-Ⅲ-9-(1)	③被保険者への保健事業の推進（p. 36）
	143	消費生活対策事務経費 地方消費者行政推進事業（p. 53）	3-Ⅲ-15-(1) 3-Ⅲ-15-(2)	①自立する消費者の育成（p. 53） ②悪徳商法による被害の防止（p. 53） ①連携体制の充実（p. 53） ②消費生活相談の充実（p. 53）
保健センター	53	湯ったりゆがわら『健幸』プラン（健康増進計画・食育推進計画）推進事業（p. 24）	2-I-1-(1)	①健康増進計画・食育推進計画の推進（p. 24）
	54	食生活改善推進事業（p. 24）		
	55	健康増進事業（p. 24）	2-I-1-(1)	②健康づくり意識の啓発（p. 24） ⑥地域における健康づくりの推進（p. 25）
	56	地域自殺対策強化事業（p. 25）	2-I-1-(1)	⑤こころの健康づくりの推進（p. 25）
	57	母子保健事業（p. 25）	2-I-1-(2)	①母子保健の推進（p. 27）
	58	健康増進事業（がん検診）（p. 26）	2-I-2-(1)	①検診受診率の向上（p. 26）
	59	予防接種事業（p. 26）	2-I-2-(2)	①予防接種率の向上（p. 26）
	61	保健衛生事務経費（地域医療連携推進事業運営費負担金等） 救急医療推進対策事業 広域病院群輪番制事業（p. 27）	2-I-3-(1)	①関係機関との連携と医療体制の充実（p. 27）
	99	健康増進事業（後期高齢者健康診査）（p. 37）	2-Ⅲ-9-(3)	②後期高齢者健康診査の実施（p. 37）
こども支援課	64	一時預かり事業（p. 28）	2-II-4-(2)	①幼児保育サービスの整備・充実（p. 28）
	65	子育てサロン運営事業（p. 28）		
	66	ファミリーサポートセンター事業（p. 28）		
	67	子育て支援センター事業（p. 28）		
	68	子育て支援紙おむつ等支給事業（p. 28）		
社会福祉課	62	湯河原町社会福祉協議会補助金（p. 27）	2-II-4-(1)	④社会福祉協議会の充実（p. 27）

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
社会福祉課	63	地域福祉会館改修事業 (p. 27)	2-II-4-(1)	⑧地域会館の活用促進 (p. 27)
	69	障がい者就業・生活支援センター事業 (p. 29)	2-II-6-(1)	①社会参加・就労・就学などの支援 (p. 29)
	70	精神障がい者対策事業 (p. 29)		
	71	心身障がい者福祉事務経費（県西地区障害者文化事業負担金等） (p. 29)	2-II-6-(1)	②スポーツ・レクリエーション・文化活動の推進 (p. 29)
	73	重度障がい者医療費助成事業 (p. 30)	2-II-6-(2)	①保健・医療の充実 (p. 30)
	74	地域生活支援事業 (p. 30)	2-II-6-(2)	②在宅サービスの充実 (p. 30)
	75	重度障がい者住宅設備改良費補助事業 (p. 30)	2-II-6-(2)	③住宅設備の改良 (p. 30)
	76	障がい者自立支援給付等事業 (p. 30)	2-II-6-(2)	④各種サービスの円滑な提供 (p. 30)
	77	障がい福祉サービス等地域拠点事業所配置事業 (p. 31)		
	78	在宅重度障がい者等福祉タクシー利用助成事業 (p. 31)		
	100	町営住宅維持修繕事業 (p. 37)	2-III-10-(1)	③町営住宅の整備検討 (p. 37)
まちづくり課	20	湯河原自然郷整備事業 (p. 11)	1-I-1-(2) 3-I-2-(1) 3-I-5-(1)	①県立奥湯河原自然公園の整備 (p. 11) ①山間部の保全と活用 (p. 41) ①都市公園の整備 (p. 42)
	102	万葉公園・周辺地区まちづくり事業 (p. 42)	3-I-3-(2)	②温泉場地区のまち並みの整備 (p. 42)
	103	公園長寿命化計画事業 (p. 43)	3-I-5-(1)	①都市公園の整備 (p. 42)
	125	交通安全施設整備事業 (p. 49)	3-III-12-(1)	①交通安全施設や歩道の整備 (p. 49)
	126	ドライブレコーダー設置補助事業 (p. 49)	3-III-12-(1)	②交通安全意識の高揚 (p. 49)
	127	交通安全対策推進事業 (p. 49)	3-III-12-(1)	③交通安全運動の推進 (p. 49)
土木課	24	藤木川遊歩道整備事業 (p. 12)	1-I-1-(2)	③清流沿いの遊歩道の整備 (p. 12)
	123	急傾斜地崩壊対策事業 (p. 48)	3-III-10-(1)	⑧土砂災害・洪水対策の強化及び改良事業の推進 (p. 48)
	144	道路新設改良事業（幹線道路の舗装、改良） (p. 53)	3-IV-16-(1)	②道路の新設・改良 (p. 53)
	145	橋梁長寿命化改修事業 (p. 54)	3-IV-16-(1)	⑥道路ストックの維持管理の推進 (p. 54)
	146	大平・若草山隧道トンネル改修事業 (p. 54)		
	147	道路照明点検事業 (p. 54)		
	148	道路法面点検事業 (p. 54)		

所管課別事業一覧
【土木課（つづき）】【観光課】

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
土木課	149	地籍調査事業 (p. 54)	3-IV-16-(1)	⑦地籍調査の推進 (p. 54)
	150	土木総務事務経費（伊豆湘南道路建設促進期成同盟会負担金） (p. 55)	3-IV-16-(2)	④伊豆湘南道路の整備促進 (p. 55)
	207	駐車場管理事業 (p. 77)	5-III-8-(1)	②自主財源の確保 (p. 77)
	210	湯河原町土地開発公社補助金 (p. 78)	5-III-8-(2)	⑤土地開発公社の適切な運営 (p. 78)
	211	土地開発公社保有用地取得事業 (p. 78)		
観光課	1	夏季行事開催事業 (p. 7)	1-I-1-(1)	①イベントの充実 (p. 7)
	2	梅の宴行事開催事業 (p. 7)		
	3	武者行列行事開催事業 (p. 8)		
	4	湯河原梅林公園管理事業 (p. 8)		
	5	もみじの郷行事開催事業 (p. 8)		
	6	宿泊促進事業 (p. 8)		
	7	地域振興事業補助金 (p. 8)		
	8	さつきの郷誘客事業 (p. 8)		
	9	駅周辺活性化プロジェクト事業 (p. 9)		
	10	コキアの郷づくり事業 (p. 9)		
	11	こごめの湯運営事務経費 (p. 9)	1-I-1-(1)	②民間活力の活用 (p. 9)
	12	made in ゆがわら認定事業 (p. 9)	1-I-1-(1) 1-II-3-(2) 1-II-4-(1)	③名物料理・商品の開拓 (p. 9) ①商工業関連団体間の連携・交流強化 (p. 15) ①観光ニーズに合った製品の共同会 発 (p. 15)
	14	観光情報紙発行事業 (p. 10)	1-I-1-(1)	⑤観光資源の発掘と情報の収集 (p. 10)
	15	土肥会創立 90 周年記念事業 (p. 10)		
	16	五段の滝整備事業 (p. 10)		
	17	ロケツーリズム推進事業 (p. 10)		
	19	観光施設維持管理経費（ハイキングコース修繕） (p. 11)	1-I-1-(1)	⑦ハイキングコースの充実 (p. 11)
	21	海水浴場運営事業 (p. 11)	1-I-1-(2)	②観光施設の活用 (p. 11)
	22	万葉公園管理経費 (p. 11)		
	25	観光立町推進事業 (p. 12)	1-I-1-(2)	⑥万葉荘の活用 (p. 12)
	27	誘客宣伝事業 (p. 12)	1-I-1-(3)	②インターネットを使った観光情報 発信の充実 (p. 12)

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
観光課	28	周遊型謎解き宝探し事業 (p. 13)	1-I-1-(3)	③拠点観光スポットの整備・活用 (p. 13)
	29	観光アドバイザー・プロモーション事業 (p. 13)	1-I-1-(3)	⑤観光アドバイザーの活用 (p. 13)
	30	インバウンド情報発信推進事業 (p. 13)	1-I-1-(3)	⑥インバウンドの情報発信 (p. 13)
	35	事業発展支援事業 (p. 15)	1-II-3-(1)	⑤空き店舗対策の支援 (p. 15)
	36	商工業振興事業補助金 (p. 15)	1-II-3-(2)	①商工業関連団体間の提携・交流強化 (p. 15)
	37	商店街振興事業 (p. 16)		
農林水産課	38	県営土地改良広域農道（小田原湯河原地区）整備事業 (p. 16)	1-II-5-(1) 3-IV-16-(2)	②広域農道の整備 (p. 16) ③広域農道の早期完成 (p. 55)
	39	有害鳥獣等被害対策事業 (p. 17)	1-II-5-(1)	③有害鳥獣による被害への対応 (p. 17)
	40	農地保全活動事業 (p. 17)	1-II-5-(2)	①耕作放棄地対策 (p. 17)
	41	農業経営合理化振興事業 (p. 17)	1-II-5-(2)	④農業経営の安定化の推進 (p. 17)
	42	地産地消推進事業 (p. 18)	1-II-5-(2)	⑧朝市・直売化の促進 (p. 18)
	43	ふれあい農園振興事業 (p. 18)	1-II-5-(3)	①ふれあい農園の規模拡大 (p. 17)
	44	幕山保安林地域整備事業 (p. 18)	1-II-6-(1)	②生活環境保全林の整備 (p. 18)
	45	地域水源林整備事業 (p. 18)	1-II-6-(1)	③育林の指導援助 (p. 18)
	46	漁業経営改善調査研究費補助金 (p. 19)	1-II-7-(1)	①稚魚・稚貝の放流による栽培漁業の促進 (p. 19)
	47	漁業振興対策事業 (p. 19)	1-II-7-(3)	①漁業経営の近代化・合理化 (p. 19) ②担い手の育成と確保 (p. 19)
環境課	101	町内美化推進事業（かながわ海岸美化財団負担金）(p. 41)	3-I-2-(1)	②海岸部の保全と活用 (p. 41)
	104	リサイクル推進事業（資源回収実施団体奨励金）(p. 43)	3-II-6-(1)	①リサイクル・リユースの促進 (p. 43)
	105	ごみ収集対策事業（ごみ収集運搬委託）(p. 43)	3-II-6-(2)	①ごみ収集体制の充実 (p. 43)
	106	湯河原町真鶴町衛生組合負担 (p. 43)	3-II-6-(2)	⑤最終処分体制の検討 (p. 43)
	107	ごみ処理広域化事業 (p. 43)	3-II-6-(2)	⑥広域化の検討 (p. 43)
	108	し尿等処理事業 (p. 44)	3-II-7-(1)	①新たなし尿・浄化槽汚泥処理体制の確立 (p. 44)
	109	不法投棄・散乱ごみ防止事業 (p. 44)	3-II-8-(1)	②不法投棄や野焼きの防止 (p. 44)
	115	浄化槽設置整備事業費（補助金）(p. 46)	3-II-9-(2)	④下水道計画区域外における合併処理浄化槽への転換促進 (p. 46)
水道課	110	上水道施設整備事業 (p. 45)	3-II-9-(1)	①上水道の整備 (p. 45)
	111	城堀簡易水道統合事業 (p. 45)	3-II-9-(1)	②簡易水道組合の統合 (p. 45)
温泉課	32	源泉施設等改修事業 (p. 14)	1-I-2-(1)	①町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営 (p. 13)
	33	温泉送配湯管等施設改修工事 (p. 14)		

所管課別事業一覧

【温泉課（つづき）】【下水道課】【消防本部】【社会教育課】

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
温泉課	34	温泉資源保護事業（湯湯調整） （p. 14）	1-I-2-(2)	①温泉の資源保護（p. 14）
下水道課	112	公共下水道管渠整備事業 下水道普及促進事業（p. 45）	3-II-9-(2)	①下水道の整備と接続促進（p. 45）
	113	浄水センター建設事業（p. 46）	3-II-9-(2)	②下水処理施設の整備（p. 46）
	114	下水道経営健全化事業（p. 46）	3-II-9-(2)	③下水道経営の健全化（p. 46）
消防本部	60	抗原検査キット等備蓄事業（p. 26）	2-I-2-(2)	②感染症に関する正しい知識の普及 啓発（p. 26）
	132	消防ポンプ自動車等（常備）整備 事業（p. 51）	3-III-14-(1)	①常備消防体制（消防本部・消防署） の整備（p. 51）
	133	消防救急デジタル無線運営事業 （p. 51）		
	134	救助活動用資機材等整備事業 （p. 51）		
	135	高機能消防指令センター運営経費 （p. 51）	3-III-14-(1)	③非常備消防体制（消防団）の充実 （p. 51）
	136	高機能消防指令センター整備事業 （p. 51）		
	137	消防ポンプ自動車等（非常備）整 備事業（p. 51）		
	138	消防団活動用資機材等整備事業 （p. 52）	3-III-14-(2)	①救急自動車の更新（p. 52）
	139	災害対応特殊救急自動車整備事 業（p. 52）		
	140	マタニティ・サポート 119 運営 経費（p. 52）	3-III-14-(2)	②救急救命士などの育成（p. 52）
	141	救急救命士運営経費（p. 52）		
	142	救急活動感染症対策用資器材整 備事業（p. 52）	3-III-14-(2)	③救急資器材の整備（p. 52）
社会教育課	152	家庭教育推進事業（p. 58）	4-I-1-(1)	①学習機会の充実（p. 58）
	168	町民大学運営事業（p. 62）	4-I-4-(1)	①町民大学の拡充（p. 62）
	169	学習活動推進事業（p. 62）	4-I-4-(2)	①多様なライフスタイルに対応した 学習プログラムの作成（p. 63）
	173	ヘルシープラザ運営事業（p. 63）	4-I-5-(1)	①スポーツ施設の利用促進・運営充実 （p. 63）
	174	湯河原町民体育館運営経費 （p. 63）		
	175	湯河原町総合運動公園弓道場運 営経費（p. 64）		
	176	保健体育総務事務経費（スポーツ 少年団助成金）（p. 64）	4-I-5-(2)	①スポーツ活動の支援（p. 64）
	177	湯河原町体育協会補助金（p. 64）		
	178	スポーツ振興助成事業（p. 65）		
	179	町民レクリエーションの集い開 催事業（p. 65）	4-I-5-(2)	②スポーツ・レクリエーションの場づ くり（p. 65）
	180	各種大会開催事業（p. 65）		

所管課	No.	実施計画の事業 No. と事業名 事業名	細施策体系計画別	
社会教育課	181	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業 (p. 65)	4-I-5-(2)	③スポーツ教室、イベントの開催 (p. 65)
	182	青少年育成事務経費(町青少年指導員会助成金) (p. 66)	4-I-6-(1)	①青少年健全育成関係団体の支援 (p. 66)
	183	青少年育成事務経費(町子ども会育成団体連絡協議会助成金) (p. 66)	4-I-6-(2)	②青少年育成体験活動の推進 (p. 66) ③青少年相談の充実 (p. 66) ②次世代地域指導者の育成 (p. 67)
	184	青少年健全育成地域活動推進事業 (p. 66)		
	185	放課後児童健全育成事業 (p. 66)		
	186	放課後子ども教室推進事業 (p. 67)		
	188	文化祭開催事業 (p. 67)	4-II-7-(2)	①教養文化の土壌醸成 (p. 67)
	193	国際理解講座開催事業 (p. 69)	4-III-9-(1)	②国際理解講座の開催 (p. 69)
	195	親善都市子ども交流推進事業 (p. 70)	4-III-10-(1)	①姉妹都市などとの交流拡大 (p. 70)
美術館	189	展覧会開催事業 (p. 68)	4-II-7-(2)	②美術館の充実・活用 (p. 68)
	190	アトリエ公開事業 (p. 68)		
	191	開館25周年記念事業 (p. 68)		
図書館	153	子ども読書活動推進事業 (p. 58)	4-I-1-(1)	①学習機会の充実 (p. 58)
	170	図書館運営事務経費(施設整備事業含む) (p. 63)	4-I-4-(3)	①図書館施設整備の推進 (p. 63)
	171	図書館資料整備事業 (p. 63)	4-I-4-(3)	②図書館資料の充実 (p. 63)
	172	ブックスタート・セカンドブック推進事業 (p. 63)	4-I-4-(3)	④子どもたちに対するサービスの推進 (p. 63)
学校教育課	72	障がい児介助員設置事業 (p. 30)	2-II-3-(1) 4-I-3-(1)	③特別支援教育の充実 (p. 30) ④特別支援教育の充実(再掲) (p. 60)
	154	小中学校等外国語活動推進事業(幼保・小学校・中学校) (p. 59)	4-I-2-(1) 4-I-3-(1)	①教育内容の充実 (p. 59) ①特色のある教育の推進 (p. 59)
	155	学校支援ボランティア活用事業 (p. 59)	4-I-3-(1)	①特色のある教育の推進 (p. 59)
	156	総合的学習等推進事業 (p. 59)		
	157	副読本「ゆがわら」作成事業 (p. 60)	4-I-3-(1)	②小学校教育の充実 (p. 60)
	158	図書等整備事業(小学校) (p. 60)		
	159	副読本「ゆがわら」作成事業 (p. 60)	4-I-3-(1)	③中学校教育の充実 (p. 60)
	160	図書等整備事業(中学校) (p. 60)		
	161	小中学校児童生徒支援事業 (p. 60)	4-I-3-(1)	⑦不登校などの問題解決 (p. 60)
	162	教育支援教室推進事業 (p. 61)		
	163	要保護・準要保護児童生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費補助金 (p. 61)	4-I-3-(1)	⑧要保護・準要保護児童生徒の援助 (p. 61)

所管課別事業一覧
【学校教育課（つづき）】

所管課	実施計画の事業 No. と事業名		細施策体系計画別	
	No.	事業名		
学校教育課	164	小学校校務支援システム整備事業 (p. 61)	4-I-3-(1)	⑩教育施設・設備・整備の推進 (p. 61)
	165	ICT 教育推進事業 (p. 61)		
	166	中学校給食施設等整備事業 (p. 61)		
	167	湯河原町育英奨学金 (p. 61)	4-I-3-(2)	①育英奨学制度の充実 (p. 61)